学 会 日 程 表

第1日目【11月19日（月）】

第1会場【パシフィコ横浜　会議センター　1階　メインホール】

08：25 ～ 09：20

会長講演

司会　順天堂大学大学院　医学研究科　救急災害医学　田中　裕

PL　**蘇生科学と歩んだ35年～ Along with resuscitation science for thirty five years**
帝京大学　医学部　救急医学講座　坂本　哲也

09：20 ～ 11：20

シンポジウム1

救急医療のあり方：Next Generationに向けて
司会　日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　横田　裕行
聖路加国際病院　救急部・救命救急センター　大谷　典生

SY01-1　救急医療の集約化は検討に値するか？
京都府立医科大学　救急・災害医療システム学　山畑　佳篤
SY01-2　今まで人類が経験したことのない高齢者社会に対応するための救急医療のあり方
日本在宅救急研究会　小豆畑丈夫
SY01-3　あるべき救急医療の形を考える～新しいセーフティーネットの構築に向けて
東京都立墨東病院　高度救命救急センター　濱邊　祐一
SY01-4　救命救急センターのあり方―重症患者の集約化にむけた取り組み
杏林大学　医学部　救急医学　海田　賢彦
SY01-5　高齢社会に対応するためには全次応需体制が必要となる
東京ベイ・浦安市川医療センター　救急集中治療科　舩越　拓
SY01-6　高齢者の運動器外傷に対する手術の緊急性
埼玉医科大学総合医療センター　井口　浩一

11：20 ～ 11：40

委員会報告1

日本救急医学会専攻医募集タスクフォース
司会　順天堂大学大学院　医学研究科　救急災害医学　田中　裕

CR01-1　医学生や若手医師に救急医の魅力を伝えるWebサイト「救急医をめざす君へ」
日本救急医学会専攻医募集タスクフォース　萩原　佑亮

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー１

座長　東京大学大学院　医学系研究科　救急科学　森村　尚登

LS1　**救急医療従事者のための新しいデータ収集方法論とその将来像**

日本医科大学多摩永山病院　救命救急センター　田上　隆

共催：バーズ・ビュー株式会社/マルマンコンピュータサービス株式会社

13：20 ～ 14：20

特別講演１

司会　日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　横田　裕行

SL1　**救急集中治療領域における緩和ケア**

神戸大学医学部附属病院　緩和支持治療科　木澤　義之

14：30 ～ 16：30

シンポジウム２

救急医療とEnd-of-Life Care

司会　医誠会病院　救急診療科　丸川征四郎
東京大学大学院　人文社会系研究科　会田　薫子

SY02-1　当施設における低酸素脳症および脳死症例に関する疫学調査
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院　救急医学　若竹　春明

SY02-2　救命救急センターにおける臨床倫理コンサルテーションチームの取り組み
総合大雄会病院　救命救急センター　集中治療科　宮部　浩道

SY02-3　人生の最終段階の方針決定における多職種カンファレンスの有用性とクオリティーコントロール
札幌医科大学　医学部　救急医学講座　井上　弘行

SY02-4　救急領域におけるEnd-of-life Careは撤退なのか？院内ガイドラインの策定による救急対応の変化
大阪市立総合医療センター　救命救急センター　救命救急部　有元　秀樹

SY02-5　End-of-Life Careにおける臨床フレイルスケールを用いた医学的評価とICU多職種倫理カンファレンス
高知医療センター　救命救急センター　石原　潤子

SY02-6　救急・集中治療領域におけるEnd-of-Life Discussion―日米での経験をもとに
帝京大学医学部附属病院　高度救命救急センター　伊藤　香

SY02-7　日本のICUでactive palliative careは可能か ～日豪の臨床・法律・文化の違いからの考察
Intensive care unit, Sir Charles Gairdner Hospital　小野雄一郎

16：50 ～ 18：20

パネルディスカッション１

救急医療体制におけるドクターカー・ドクターヘリの意義

司会　東海大学　医学部　外科学系　救命救急医学　猪口　貞樹
公立豊岡病院　但馬救命救急センター　小林　誠人

PD01-1　名寄市立総合病院におけるドクターカーの運用状況
名寄市立総合病院　救急科　西浦　猛

PD01-2　ドクターカーの院外心停止に対する転帰への寄与
東京医科歯科大学医学部附属病院　救命救急センター　森　周介
PD01-3　メディカルコントロールと連動した外傷症例におけるドクターカー出動システムの効果
りんくう総合医療センター　大阪府泉州救命救急センター　中尾　彰太
PD01-4　地理情報システムを用いた大阪府ドクターヘリの運用状況の解析
大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター　中川　雄公
PD01-5　和歌山県における急性期脳梗塞診療体制へのドクターヘリの貢献
和歌山県立医科大学　医学部　救急集中治療医学講座　藤田　浩二
PD01-6　京都府北中部から南部への施設間搬送ではドクターヘリを積極的に利用するべきである
京都第一赤十字病院　救急科　堀口　真仁
PD01-7　山梨の救急をドクターヘリとドクターカーで守る
山梨県立中央病院　救命救急センター　岩瀬　史明
PD01-8　ドクターヘリ・ドクターカーを有効活用する！
公立豊岡病院　但馬救命救急センター　小林　誠人

18：30 ～ 19：30

専門医共通講習1　医療安全講習会
司会　東京大学　救命救急センター　中島　勧

BC01　医療安全のキーワード
公益財団法人　日本医療機能評価機構　橋本　廸生

第2会場【パシフィコ横浜　会議センター　5階　503】

07：20 ～ 08：20

救急科領域講習1　敗血症診療
司会　慶應義塾大学　医学部　総合診療教育センター　藤島清太郎
EC01　診断にこだわる救急集中治療での感染症診療
広島大学大学院　医歯薬保健学研究科　救急集中治療医学　志馬　伸朗

09：20 ～ 09：30

東京2020特別企画　緒言
東京大学大学院　医学系研究科　救急科学　森村　尚登

09：30 ～ 10：15

パネルディスカッション2　関連セッション1（東京2020特別企画）

東京オリンピック・パラリンピック2020において救急医が果たす役割―プレホスピタルにおける課題
座長　常滑市民病院救急医療センター　中川　隆
救急救命東京研修所　田邉　晴山

MRP02-1-1　医療従事者に向けたMass-gathering医療研修の意義は高い
東京都医師会　救急委員会　災害医療研修部会　石川　秀樹
MRP02-1-2　各種スポーツ競技における脳振盪の実態調査
福岡大学　スポーツ科学部　スポーツ医学　重森　裕
MRP02-1-3　東京オリンピックを前に：四肢外傷に対する救急隊へのターニケット使用の教育と実践
深谷赤十字病院　救命救急センター・外傷センター　上野　雅仁
MRP02-1-4　米国における事態対処医療の現状～レスキュータスクフォースRescue Task Forceの紹介
九州大学大学院　医学研究院　先端医療医学部門　災害救急医学分野　永田　高志

MRP02-1-5　行政に属さない救急救命士の社会的利活用と民間メディカルコントロールへの救急医の関与
国士舘大学大学院　田中　秀治

10：15 ～ 11：00

パネルディスカッション2　関連セッション2（東京2020特別企画）

東京オリンピック・パラリンピック2020において救急医が果たす役割―ERとICUにおける課題
座長　日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　増野　智彦
横須賀市立うわまち病院　救命救急センター　本多　英喜

MRP02-2-1　2020年東京オリンピックに向けて～当院救急外来における外国人診療についての検討
帝京大学　医学部　救急医学講座　寺倉　守之
MRP02-2-2　国際診療と救急医療（2年間の現場対応と問題点）
虎の門病院　集中治療科　石井　健
MRP02-2-3　救急外来における休日夜間の外国人患者対応の業務負荷量調査
東京医科歯科大学医学部附属病院　二見　茜
MRP02-2-4　沖縄麻疹アウトブレイクから学んだ救急外来のあり方～東京オリンピックを見据えて
沖縄県立中部病院　救急科　小山　智士
MRP02-2-5　集中治療室での災害時対応と準備について
日本大学　医学部　救急医学系　救急集中治療医学分野　櫻井　淳

11：00 ～ 11：45

パネルディスカッション2　関連セッション3（東京2020特別企画）

東京オリンピック・パラリンピック2020において救急医が果たす役割　―MCI対応における課題
座長　東京医科大学八王子医療センター　救命救急センター　新井　隆男
大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター　大西　光雄

MRP02-3-1　多機関連携とアクティブ・バイスタンダーに焦点をあてた，平成30年度自衛隊中央病院 大量傷者受入訓練
自衛隊中央病院　竹島　茂人
MRP02-3-2　爆風損傷：臨床，診療体制，医療以外の連携
東北大学大学院　医学系研究科　神経外科学分野　中川　敦寛
MRP02-3-3　一救急医が東京オリンピック・パラリンピックに貢献できること～津久井やまゆり園の事案から考える
北里大学　医学部　救命救急医学　服部　潤
MRP02-3-4　東京における大量傷病者受け入れ能力の検討
日本赤十字社医療センター　救命救急センター　近藤　祐史

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー2
座長　東京都立小児総合医療センター　集中治療・救命救急部門　清水　直樹
LS2　Improving the Certainty and Probability of Successful Resuscitation for Children…Past, Present and Future
Endowed Chair, Professor, Department of Anesthesiology and Critical Care Medicine Medical Director, CHOP Center for Simulation, Advanced Education, and Innovation Associate Director, University of Pennsylvania Center for Resuscitation Science　Vinay Nadkarni

共催：旭化成ゾールメディカル株式会社

13：20 ～ 14：20

招待講演1（東京2020特別企画）

司会　東京医科大学　救急・災害医学分野　織田　順

IL1　Medical preparedness for mass gatherings: Lessons and observations from the WHO Mass Gathering Collaborating Centre network
Torrens Resilience Institute, Flinders University　Paul Arbon

14：20 ～ 15：50

パネルディスカッション2（東京2020特別企画）

東京オリンピック・パラリンピック2020において救急医が果たす役割

司会　東京大学大学院　医学系研究科　救急科学　森村　尚登
富山大学大学院　危機管理医学（救急・災害医学）　奥寺　敬

PD02-1　東京オリンピック江ノ島会場における救急医の役割分担の是非
藤沢市民病院　救命救急センター　阿南　英明

PD02-2　東京オリンピック・パラリンピックにつながるラグビーワールドカップ2019医療体制
－PHICIS資格認定，準備と対応の実際
済生会熊本病院　救急総合診療科　杉山　眞一

PD02-3　東京都内における夏季の急性疾病の発生状況の検討
帝京大学　医学部　救急医学講座　神田　潤

PD02-4　外国籍の救急患者対応には多職種による診療体制の構築が重要である
東京医科歯科大学　救命救急センター　森下　幸治

PD02-5　多数熱傷患者受け入れのための準備とマニュアル作成
日本赤十字社医療センター　救命救急センター　諸江　雄太

15：50 ～ 17：20

ワークショップ1（東京2020特別企画）

コンソーシアムへの提案　日本救急医学会が取り組む課題と対策

司会　大阪市立大学　病態診断生体機能管理医学講座　溝端　康光
順天堂大学医学部附属練馬病院　救急・集中治療科　杉田　学

WS01-1　東京オリンピック2020における多機関連携センターの重要性とそのカギ～原子力災害から得た経験から
厚生労働省　大臣官房　厚生科学課　（前　原子力規制庁　放射線防護企画課）　寺谷　俊康

WS01-2　救護所・医務室における医療チーム要件と研修体制について
京都府立医科大学大学院　医学研究科　救急・災害医療システム学　山畑　佳篤

WS01-3　主催都市医師会の準備
東京都医師会　救急委員会　山口　芳裕

WS01-4　コンソーシアムへの提案―熱中症対策
帝京大学　医学部　救急医学　三宅　康史

WS01-5　大規模イベント開催時におけるラストマイルへの対応：関連機関連携による医療体制の確立
慶應義塾大学　医学部　救急医学　佐々木淳一

18：00 ～ 19：30

イブニングセミナー1　第8回救急感染症塾　『敗血症とPICS』

総合座長　慶應義塾大学　名誉教授　相川　直樹

開会の挨拶　慶應義塾大学　名誉教授　相川　直樹

第1部（セミナー）― PICSを予防するために敗血症をどのように管理するか ―

座長　東邦大学　医学部　微生物・感染症学講座　舘田　一博
慶應義塾大学　医学部　救急医学　佐々木淳一

ES1-1　敗血症患者に浅い鎮静管理／早期離床は可能か？！
名古屋大学大学院　医学系研究科　救急・集中治療医学分野　松田　直之

ES1-2　1時間バンドル時代を迎えた敗血症診療
慶應義塾大学　医学部　救急医学　佐々木淳一

第2部― 敗血症患者の社会復帰を目指した管理 ―（インターラクティブセッション）

座長　杏林大学　医学部　救急医学教室　山口　芳裕
医療法人社団親樹会　恵泉クリニック
埼玉医科大学医学部　総合医療センター　高度救命救急センター　太田　祥一
プレゼンター　聖路加国際病院　救急部　一二三　亨
コメンテーター　名古屋大学大学院　医学系研究科　救急・集中治療医学分野　松田　直之
国際医療福祉大学　医学部　感染症学講座　松本　哲哉

閉会の挨拶　慶應義塾大学　名誉教授　相川　直樹

共催：ファイザー株式会社

第3会場【パシフィコ横浜　会議センター　5階　501】

07：20 ～ 08：20

救急科領域講習2　熱傷診療

司会　独立行政法人　地域医療機能推進機構　中京病院　救急科　上山　昌史

EC02　忘れたころに遭遇する熱傷初期診療をうまく行い教育するために
東京医科大学　救急・災害医学　織田　順

09：30 ～ 11：00

パネルディスカッション3

循環器救急における救急医と循環器医の役割

司会　横浜市立大学　救急医学教室　竹内　一郎
獨協医科大学　心臓・血管内科／救命救急センター　菊地　研

PD03-1　救急集中治療領域と循環器領域との双方向性卒後教育システムの確立に向けて
京都医療センター　西山　慶

PD03-2　病院前12誘導心電図は非循環器内科医から循環器内科医への連携ツールとして有用である
昭和大学藤が丘病院　救急医学科　前田　敦雄

PD03-3　循環器疾患における救急医の有用な役割は病院前から始まっている
日本赤十字社　和歌山医療センター　高度救命救急センター　岩崎　安博

PD03-4　ドクターヘリを活用した循環器救急医療体制は有用か？
公立豊岡病院　但馬救命救急センター　松村　圭祐

PD03-5　東京都における3次救急選定された重症心筋梗塞の検討
日本医科大学付属病院　心臓血管集中治療科　三軒　豪仁

PD03-6　Hybrid ERを活用した当院のACS治療戦略～循環器内科医と救急医，両方の立場から
東京都立墨東病院　高度救命救急センター　宮崎　紀樹

11：00 ～ 11：40

アジア特別講演1

司会　救急救命九州研修所　畑中　哲生

ASL1　Robot CPR as an alternative to manual CPR : a Preliminary Study
Department of Emergency Medicine, Seoul National University Hospital　Gil Joon Suh

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー3

座長　香川大学　医学部・医学系研究科　救急災害医学講座　黒田　泰弘

LS3-1　**地域全体で取り組む重症心不全・CPA患者の治療―新しいドクターカーシステム構築から植え込み型VADハブ施設設立まで**
横浜市立大学大学院　医学研究科　救急医学教室　竹内　一郎

LS3-2　Global trends on ECPR: Let's join a global resuscitation network
Emergency Medicine, Donald and Barbara Zucker School of Medicine at Hofstra / Northwell North Shore University Hospital / Long Island Jewish Medical Center　Lance B. Becker

共催：テルモ株式会社

14：20 ～ 15：30

パネルディスカッション4

ビッグデータを用いた救急医学研究

司会　近畿大学　IRセンター　平出　敦
日本医科大学多摩永山病院　救命救急センター　田上　隆

PD04-1　救急外来のビッグデータを用いた機械学習によるトリアージの転帰予測性能の比較検討
マサチューセッツ総合病院　救急部　後藤　匡啓

PD04-2　病院前救護から退院転帰に至るまでの情報を収集する地域網羅的救急搬送患者レジストリ（ORION）の現状と将来
大阪府救急医療統計検討部会　片山　祐介

PD04-3　重症熱傷患者に対するビタミンC大量療法の効果
東京大学大学院　医学系研究科　臨床疫学・経済学教室　中島　幹男

PD04-4　敗血症性ショック患者に対するアルブミン初期蘇生の効果：DPCデータを用いた傾向スコアマッチング研究
東京大学大学院　医学系研究科　臨床疫学・経済学教室　大邉　寛幸

PD04-5　日本外傷データバンク・データを用いた機械学習による人工知能研究ことはじめ
防衛医科大学校　外傷研究部門　齋藤　大蔵

PD04-6　日本外傷データバンクを用いた深層学習による新たな生存率予測モデルの開発
水戸医療センター　救急科　堤　悠介

PD04-7　日本外傷データ・バンクを用いたショック指数の再考：早期輸血必要性の指標となるか？
近畿大学医学部附属病院　救命救急センター　鷹羽　浄顕

15：30 ～ 18：00

ワークショップ2

さあ，臨床研究を始めよう～日々の疑問から論文まで

司会　防衛医科大学校　防衛医学研究センター　外傷研究部門　齋藤　大蔵
産業医科大学　救急医学講座　真弓　俊彦

〔第1部〕

WS02-1-1　日常の疑問からリサーチクエッションの立案まで
順天堂大学医学部附属順天堂医院　総合診療科　阿部　智一

WS02-1-2　研究デザインを鍛え上げよう
亀田総合病院　救命救急科　白石　淳

WS02-1-3　統計解析への招待
沖縄県立中部病院　救急科　宜保光一郎

WS02-1-4　論文を書こう
日本医科大学多摩永山病院　救命救急センター　田上　隆

〔第2部〕

WS02-2-1　日本救急医学会の学会主導多施設研究の成果と課題～ ANZICS と比較して
日本救急医学会多施設共同試験特別委員会　小倉　裕司

WS02-2-2　学会主導研究公募とその方法について
日本救急医学会学会主導研究評価特別委員会　田崎　修

WS02-2-3　前向き介入試験の研究倫理
日本救急医学会学会主導研究評価特別委員会　山村　仁

WS02-2-4　企業との合同研究のあり方と方向性
京都医療センター　救命救急センター　西山　慶

18：30 ～ 19：30

救急科領域講習4　その他診療

司会　自治医科大学附属さいたま医療センター　救急科　守谷　俊

EC04　正しく伝える熱中症
帝京大学　医学部　救急科　三宅　康史

第4会場【パシフィコ横浜　会議センター　5階　502】

07：20 ～ 08：20

救急科領域講習3　中毒診療

司会　新潟市民病院　救命救急・循環器病・脳卒中センター　廣瀬　保夫

EC03　急性中毒の標準治療　ー最新の動向からー
順天堂大学医学部附属練馬病院　杉田　学

09：30 ～ 10：30

私のあんな工夫・こんな工夫　1

司会　名古屋掖済会病院　救命救急センター　北川　喜己

DS1-1　はじめてでも一人で治せる肩脱臼整復
洛和会音羽病院　救命救急センター・京都ER　宮前　伸啓

DS1-2　可動式固定翼を有する気管切開チューブの選択基準に関して
横浜市立大学附属市民総合医療センター　高度救命救急センター　加藤　真

DS1-3　リミッターを解除したシリンジポンプの活用―あなたは「10分かけてゆっくり静注」でき

ますか？
熊本赤十字病院　吉田　悠哉

DS1-4　小児の吸気・呼気比評価法
東京都立小児総合医療センター　救命・集中治療部　救命救急科　伊原　崇晃

DS1-5　IPM/CSを用いた消化管出血に対するIVR
北里大学　医学部　救命救急医学　樫見　文枝

DS1-6　効果的な減圧開頭を行うための我々の工夫 ～ bone edge suture と sliding dura method
聖路加国際病院　脳神経外科　桑本健太郎

10：40 ～ 11：10

教育講演1
司会　日本医科大学武蔵小杉病院　感染制御部/救命救急センター　望月　徹

EL1　敗血症における好中球機能異常
帝京大学　医学部　微生物学講座 内科外来診療　斧　康雄

11：10 ～ 11：40

教育講演2
司会　名古屋大学大学院　医学系研究科　救急・集中治療医学分野　松田　直之

EL2　敗血症をpreventable public health problemとして考える
慶應義塾大学　医学部　救急医学　佐々木淳一

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー4

急性期脳梗塞治療の最前線　～チームでつなぐ血管内治療～
座長　日本医科大学大学院　医学研究科　救急医学分野　横田　裕行

LS4-1　血栓回収療法の現状とチーム医療の重要性～神経内科医の立場から
日本医科大学大学院　医学研究科　神経内科学分野　鈴木健太郎

LS4-2　血栓回収療法の現状とチーム医療の重要性～救急医の立場から
筑波大学　医学医療系　救急・集中治療科，脳卒中診療グループ，脳神経外科　丸島　愛樹

共催：日本ストライカー株式会社

14：20 ～ 14：50

教育講演3
司会　内閣官房参与　佐々木　勝

EL3　火山噴火災害時の医療
山梨県立中央病院　救命救急センター　総合診療感染症センター　井上　潤一

14：50 ～ 15：20

教育講演4
司会　東京慈恵会医科大学附属第三病院　救急部　大槻　穣治

EL4　敗血症に合併したDIC―何を見て，どう治療するか―初学者に向けての一考
東京女子医科大学　救急医学　武田　宗和

15：20 ～ 15：50

教育講演5

司会　帝京平成大学　健康医療スポーツ学部　大橋　教良

EL5　中毒診療における日本中毒情報センターの役割

公益財団法人　日本中毒情報センター　波多野弥生

15：50 ～ 16：20

教育講演6

司会　日本大学　医学部　救急医学系　救急集中治療医学分野　山口　順子

EL6　米国救急プレホスピタル最新事情―日本と違うところ，思うところ，日本とのこれからの相互発展

Department of Emergency Medicine, Emory University School of Medicine　中嶋　優子

16：20 ～ 16：50

教育講演7

司会　藤沢市民病院　救命救急センター　阿南　英明

EL7　通信指令業務におけるMC（Medical control）医師の役割～通信指令員とMC医師が共に成長していくために～北九州市の取り組み

北九州市立八幡病院　救命救急センター　田口　健蔵

16：50 ～ 17：20

Pros&Cons1　重症呼吸不全へのVV-ECMOの適応

司会　独立行政法人労働者健康安全機構　秋田労災病院　多治見公高

P&C1-1　呼吸ECMOは必要不可欠―Post EOLIA trialは新時代の幕開けである

東京都立多摩総合医療センター　救命救急科　萩原　祥弘

P&C1-2　重症呼吸不全へのVV-ECMOの適応 ―そのECMO，誰のためのECMOですか？

神戸市立医療センター中央市民病院　救命救急センター　瀬尾龍太郎

17：20 ～ 17：50

Pros&Cons2　75歳以上へのECPRの適応

司会　自治医科大学　医学部　救急医学講座　救命救急センター　間藤　卓

P&C2-1　ECPRを75歳以上も適応とするか？

地方独立行政法人大阪市民病院機構　大阪市立総合医療センター
救命救急センター　救命救急部　有元　秀樹

P&C2-2　Pros and Cons―「75歳以上ではECPRを行うべきでない」の立場から

横浜市立大学　救急医学教室/附属市民総合医療センター　高度救命救急センター　竹内　一郎

17：50 ～ 18：20

Pros&Cons3　熱中症への血管内冷却を積極的に行うべきか

司会　公立阿伎留医療センター　雅楽川　聡

P&C3-1　血管内冷却装置は我が国の実情に即した重要な選択肢である

日本医科大学大学院　医学研究科　救急医学分野　横堀　將司

P&C3-2　熱中症治療で血管内冷却装置を積極的に実施する根拠はない

京都大学大学院　医学研究科　初期診療救急医学分野　岡田　遥平

18：30 ～ 19：30

救急科領域講習5　精神科的症状

司会　　埼玉医科大学病院　救急センター・中毒センター　　上條　吉人

EC05　　**救急領域における精神症状への対応**

横浜市立大学附属市民総合医療センター　精神医療センター　　日野　耕介

第5会場【パシフィコ横浜　会議センター　3階　301】

09：20 ～ 10：35

パネルディスカッション4　関連セッション

ビッグデータを用いた救急医学研究

座長　　帝京大学　医学部　救急医学講座　　中原　慎二
関西医科大学　救急医学講座　　梶野健太郎

MRP04-1　MIMIC-IIIを用いた敗血症における乳酸クリアランスと転帰との関係
新潟大学医歯学総合病院　高度救命救急センター・集中治療部　　遠藤　　裕

MRP04-2　AISコード抽出プログラムを用いたJTDB研究：肺損傷と肋骨骨折の関連性
日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター　　齋藤　伸行

MRP04-3　大規模データベースを使った高齢者の外傷死亡における予測生存率スコアの検討
東京ベイ・浦安市川医療センター　　石上雄一郎

MRP04-4　DPCデータからみた外傷患者に対するトラネキサム酸
松戸市立総合医療センター　救命救急センター　　園部　浩之

MRP04-5　ER施設は救急搬送所要時間を短くするか
日本赤十字社　和歌山医療センター　第一救急科　　東　　秀律

MRP04-6　重症患者の救急搬送時間短縮と麻酔科医数，消化器内科医数に相関を認める
国際医療福祉大学　医学部　救急医学　　志賀　　隆

MRP04-7　救急外来データを活用した機械学習による入院率予測モデルの開発とその臨床応用
日立総合病院　救急集中治療科　　園生　智弘

MRP04-8　一般市中病院で行うビッグデータ解析の取り組み―機械学習を用いた予期しないICU入室の予測
堺市立総合医療センター　集中治療科　　熊澤　淳史

10：35 ～ 11：50

パネルディスカッション7　関連セッション

頭部外傷診療における救急医と脳神経外科医の役割

座長　　国立病院機構　大阪医療センター　救命救急センター　　木下　順弘
聖マリアンナ医科大学東横病院　脳神経外科　　小野　　元

MRP07-1　救急医そして脳神経外科医のそれぞれの立場から見た頭部外傷治療
宮崎大学医学部附属病院　救命救急センター　　落合　秀信

MRP07-2　我が国のプロボクシングにおける救急医と脳外科医の緊密な連携
東京慈恵会医科大学附属第三病院　救急部　　大槻　穣治

MRP07-3　血清バイオマーカーを用いた軽症から中等症頭部外傷診断の試み
熊本大学医学部附属病院　救急・総合診療部　　金子　　唯

MRP07-4　抗凝固療法と外傷性頭蓋内出血～薬学の発展は予後を改善させうるか
日立製作所　日立総合病院　脳神経外科　　中尾　隼三

MRP07-5　Hybrid ERを用いた迅速な穿頭手術は重症頭部外傷の神経機能予後を改善する
大阪急性期・総合医療センター　救急診療科　　木下　喬弘

MRP07-6　頭部以外に対する早期手術を行った頭部外傷合併例の神経学的転帰に関する検討
兵庫県災害医療センター　救急部　菊田　正太

MRP07-7　乳幼児重症頭部外傷に対する治療戦略と周術期危機管理
埼玉医科大学総合医療センター　高度救命救急センター　荒木　尚

MRP07-8　SLIC分類による中下位頸椎損傷・脊髄損傷の治療戦略
関西医科大学総合医療センター　救命救急センター　岩瀬　正顕

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー5

座長　帝京大学ちば総合医療センター　救急集中治療センター　志賀　英敏

LS5　敗血症治療における血液浄化療法の役割
岩手県高度救命救急センター　鈴木　泰

共催：バクスター株式会社

14：20 ～ 15：50

パネルディスカッション5

救急現場における教育の工夫
司会　大阪市立大学大学院　医学研究科　救急医学　溝端　康光
京都大学大学院　医学研究科　初期診療・救急医学分野　小池　薫

PD05-1　救急部の「朝練」は救急医学への入口
岸和田徳洲会病院　救命救急センター　薬師寺泰匡

PD05-2　自己調整学習を促す救命救急センターにおける学習環境デザイン
獨協医科大学埼玉医療センター　救急医療科　杉木　大輔

PD05-3　「働き方改革」と「学び方改革」―既存のウェブツールを用いたプッシュ型学習
聖路加国際病院　救急部・救命救急センター　清水　真人

PD05-4　ポートフォリオが救急外来の臨床実習をより充実したものにする
津軽保健生活協同組合　健生病院　救急集中治療部　入江　仁

PD05-5　トヨタ生産方式を用いた救急医療現場におけるオンザジョブトレーニングの試み
日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　石井　浩統

PD05-6　模擬患者モニターを活用した“10 minutes simulation”の検討
京都府立医科大学　救急・災害医療システム学　山畑　佳篤

15：50 ～ 17：20

パネルディスカッション6

あと3年で規制適用？　救急医の働き方改革：救急医療は対応できるか？
司会　日本救急医学会医師の働き方に関する特別委員会　担当理事　小倉　真司
男女共同参画推進特別委員会　委員長　畝本　恭子

PD06　パネリスト
厚生労働省　医政局医事課　課長補佐　石丸　文至
男女共同参画推進特別委員会　木田　佳子
日本救急医学会　働き方改革に関する特別委員会　委員長　松本　尚
厚生労働省　医師の働き方改革に関する検討会　委員　赤星　昴己
東京医療センター　救命救急センター長　菊野　隆明

17：30 ～ 18：30

特別企画1

日本に病院船は必要か―米国病院船マーシー東京寄港に係る検討をふまえて

司会　杏林大学　医学部　救急医学教室　山口　芳裕

SP01-1　杏林大学　医学部　救急医学教室　山口　芳裕
SP01-2　国立病院機構　災害医療センター　臨床研究部　小井土雄一
SP01-3　公益社団法人　モバイル・ホスピタル・インターナショナル　砂田　向壱
SP01-4　野村総合研究所　山田　謙次

第6会場【パシフィコ横浜　会議センター　3階　302】

09：20 ～ 10：35

パネルディスカッション5　関連セッション1

救急現場における教育の工夫

座長　関西医科大学総合医療センター　中森　靖
横浜市立大学附属市民総合医療センター　高度救命救急センター　高橋　耕平

MRP05-1-1　生体モニター波形から測定したchest compression fractionのフィードバックによる教育効果
聖路加国際病院　救急部・救命救急センター　岩崎　任
MRP05-1-2　救急外来における良性発作性頭位変換性めまい症（BPPV）に対する画像検査の記述疫学：単一施設による後ろ向き研究
東京ベイ・浦安市川医療センター　沼田　賢治
MRP05-1-3　顔面縫合に対するEvidence-Based Trainingの開発と取り組み
慶應義塾大学　医学部　救急医学　山元　良
MRP05-1-4　当院における救急超音波教育への取り組み～2ステップ法による循環動態の評価
旭川医科大学　救急医学講座　岡田　基
MRP05-1-5　救命センター開設からの画像診断に対しての取り込み
JMA海老名総合病院　救命センター　名取　穣治
MRP05-1-6　奄美大島の救急救命センターにおける小児受診動向解析：小児診療の教育ポイント
鹿児島大学大学院　医歯学総合研究科　生体機能制御学講座　救急・集中治療医学分野　望月　礼子
MRP05-1-7　自己学習の機会と充実した各専門科ローテーションによる「多忙でも魅力的なER」
医療法人沖縄徳洲会　湘南鎌倉総合病院　ER/救急総合診療科　黒田　駿
MRP05-1-8　当院における研修医教育における工夫―現場救急医療体験機会の確保と多職種連携シミュレーションコースの開発
伊勢赤十字病院　救命救急センター　説田　守道

10：35 ～ 11：50

パネルディスカッション5　関連セッション2

救急現場における教育の工夫

座長　大阪府済生会千里病院　千里救命救急センター　林　靖之
東京慈恵会医科大学　救急医学講座　武田　聡

MRP05-2-1　メディカルコントロールに関する知識の普及と課題
和歌山県立医科大学　救急集中治療医学講座　加藤　正哉
MRP05-2-2　Hybrid ERにおけるチーム医療の実践と教育の工夫
大阪急性期・総合医療センター　高度救命救急センター　渡邊　篤

MRP05-2-3　救急以外の専門領域専攻医への救急医療への興味保持と救急担当医との連携構築の試み
雲南市立病院外科・地域総合診療科　森脇　義弘
MRP05-2-4　救急初療の行動規範における新たな概念の提案と導入の試み
自治医科大学附属さいたま医療センター　救命救急センター　下山　哲
MRP05-2-5　後期研修開始時の手技習熟度評価～出身病院との関連について
東京ベイ・浦安市川医療センター　救急集中治療科　溝辺　倫子
MRP05-2-6　SNSを用いた研修医教育～時間の有効活用を目指して
日本赤十字社和歌山医療センター　放射線科部　是永　章
MRP05-2-7　「未来語りのダイアローグ」の医療現場への導入～信念対立解明への手段として
埼玉成恵会病院　外科　清水　広久
MRP05-2-8　大阪おもてなしセミナーから見える学生対象救急セミナーの企画極意
大阪府医療人キャリアセンター　救急セミナー企画委員会　山川　一馬

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー6

座長　愛媛大学大学院　医学系研究科　救急航空医療学講座　佐藤　格夫

LS6　急性期全身管理における早期経腸栄養の展望2018
名古屋大学大学院　医学系研究科　救急・集中治療医学分野　松田　直之

共催：株式会社明治

14：20 ～ 15：50

パネルディスカッション7

頭部外傷診療における救急医と脳神経外科医の役割
司会　日本医科大学大学院　医学研究科　救急医学分野　横堀　將司
山口大学医学部附属病院　先進救急医療センター（脳神経外科）　末廣　栄一

PD07-1　重症頭部外傷診療における脳神経外科を専門とする救急医の役割
済生会滋賀県病院　救命救急センター・救急集中治療科　越後　整
PD07-2　頭部外傷を含む多発外傷診療における脳神経外科医の役割
石川県立中央病院　救命救急センター　村上　健一
PD07-3　現場から始まるシームレスな頭部外傷診療～多職種の織り成す「タテ」の連携・「ヨコ」の連携
社会医療法人仁愛会　浦添総合病院　救命救急センター　米盛　輝武
PD07-4　ルーブリック評価による頭部外傷診療能力向上のための取り組み
大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター　射場　治郎
PD07-5　脳神経外科専門医を有する救急科専門医による頭部外傷の新たな治療戦略
日本医科大学大学院　医学研究科　救急医学分野　中江　竜太
PD07-6　高齢化社会を迎えた日本における頭部外傷診療チーム内のそれぞれの役割
山口大学　医学部　脳神経外科　末廣　栄一
PD07-7　脳振盪に対する救急医と脳神経外科医の役割
飯塚病院　救急部　山田　哲久
PD07-8　頭部外傷クリニック：脳振盪に対する対応の変化を踏まえた救急医と脳神経外科医の役割分担
東北大学大学院　医学系研究科　神経外科学分野　中川　敦寛

15：50 ～ 16：55

パネルディスカッション3　関連セッション

循環器救急における救急医と循環器医の役割

座長　東京歯科大学　市川総合病院　救急科　鈴木　昌
国立循環器病研究センター　心臓血管内科　田原　良雄

MRP03-1　無痛性急性A型大動脈解離を早期発見して心臓血管外科医へ繋ぐために
神戸医療センター中央市民病院　松田　靖弘

MRP03-2　高感度トロポニンを用いた胸痛患者のトリアージ～ 0-1時間アルゴリズムの有用性ついて
順天堂大学医学部附属練馬病院　塩崎　正幸

MRP03-3　胸痛症例に対するドクターカーの有用性
淀川キリスト教病院　救急科　夏川　知輝

MRP03-4　ER型救急病院におけるECPR，ERバイパスの取り組みERバイパスシミュレーションを通して救急医の役割を考える
沖縄県立中部病院　救急センター　木全　俊介

MRP03-5　当救命救急センターにおける救急医と循環器医の連携
愛知医科大学　救命救急科　津田　雅庸

MRP03-6　救急医と循環器内科医の連携～難治性心室細動患者を救命するために
神戸市立医療センター中央市民病院　畑　菜摘

MRP03-7　救命救急センター内に設置された心血管集中治療室の有用性
信州大学　医学部　救急集中治療医学　今村　浩

17：00 ～ 18：30

ワークショップ3

終末期の延命治療終了後のマネジメントについて

司会　徳島県立中央病院　西村　匡司
獨協医科大学　救急医学　小野　一之

WS03-1　終末期の延命治療マネジメントについて～緩和医療の立場から
神戸大学医学部附属病院　緩和支持治療科　木澤　義之

WS03-2　救命・集中治療終末期医療における緩和ケアの在り方：米国での経験を踏まえて
帝京大学医学部附属病院　高度救命救急センター　伊藤　香

WS03-3　患者中心のゴールを明確にした終末期医療への提言：日本集中治療医学会の立場および米国の現状から
東京ベイ・浦安市川医療センター　集中治療部門　則末　泰博

WS03-4　3学会合同による終末期医療の現状調査について
日本救急医学会救急医療における終末期医療のあり方に関する委員会　小池　薫

第7会場【パシフィコ横浜　会議センター　3階　303】

09：30 ～ 10：20

口演1

心肺停止　1

座長　鹿児島市立病院　救命救急センター　鹿野　恒
琉球大学大学院　医学研究科　救急医学　福田　龍将

O01-1　長時間の心肺蘇生後に良好な神経予後を獲得する院外心停止患者を予測するスコアの作成
北海道大学病院　先進急性期医療センター　前川　邦彦

O01-2　要介護度はCPA患者の予後予測因子になるか
日本医科大学武蔵小杉病院　救命救急科　石丸　直樹

O01-3　心拍再開後神経学的予後予測因子としてのNSE値の再評価
独立行政法人国立病院機構　東京医療センター　救急科　尾本健一郎

O01-4　院外心停止患者における血清カリウムと神経学的予後の関係
京都大学　予防医療学　志田　瑶

O01-5　痙攣を合併した心停止後症候群の予後因子の検討
大阪市立大学医学部附属病院　救命救急センター　栗正　誠也

O01-6　院外心停止症例における神経学的転帰良好予測表
金沢大学附属病院　救急部　舟田　晃

10：20 ～ 11：50

シンポジウム2　関連セッション

救急医療とEnd-of-Life Care

座長　北九州市立八幡病院　救命救急センター　伊藤　重彦
東海大学　医学部　救命救急医学　中川　儀英

MRS02-1　高齢者救急医療における「人生の最終段階における医療」の決定プロセスについての検討
国立病院機構　別府医療センター　鳴海　篤志

MRS02-2　初期治療方針選択に関わる要因の検討―JNTDB p2015より
帝京大学　医学部　救急医学講座　大貫　隆広

MRS02-3　救命及び病態改善が可能と予想される要介護・超高齢者への救急医療適応の是非―救命治療か緩和ケアか
名古屋市立大学病院　救急科　服部　友紀

MRS02-4　高齢者の嚥下機能障害に対する当院での取り組みとその効果
日立総合病院　救急集中治療科　奈良場　啓

MRS02-5　救急医療とエンドオブライフケア―それぞれの症例に合わせた医療の提供
松山心臓血管病院　救急科　笠置　康

MRS02-6　living willの適応を困難にする要因の分析―患者家族，施設職員のアンケート調査，及び訴訟事例をもとに
大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター　大西　光雄

MRS02-7　介護施設における心肺停止時のDNAR対応と消防法に基づく救急隊活動の位置づけ
北九州市立八幡病院　救命救急センター　伊藤　重彦

MRS02-8　増えゆく高齢者救急患者の問題点：高齢者の看取り方を考える―千葉県柏市の試みに救急医として参加して
東京慈恵会医科大学附属柏病院　救急部　奥野　憲司

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー７

座長　岡山大学大学院　医歯薬学総合研究科　救急医学講座　中尾　篤典

LS7　**病院前診療における無侵襲循環モニタリングの活用**

島根大学医学部附属病院　高度外傷センター　渡部　広明

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社

14：20 ～ 15：40

委員会報告２

JAAM SPICE 報告

司会　札幌東徳洲会病院　丸藤　哲
慶應義塾大学　医学部　救急医学　佐々木淳一

CR02-1　緊急室の感染症患者におけるqSOFAとSIRSの転帰予測精度の比較：SPICE-ER研究
亀田総合病院　救命救急科　白石　淳

CR02-2　SPICE-ICU研究報告：Sepsis-3を科学的に検証する
日本救急医学会多施設共同試験特別委員会　小倉　裕司

CR02-3　Sepsis：定義と診断基準の変遷
日本救急医学会多施設共同試験特別委員会　丸藤　哲

CR02-4　Sepsis-3とqSOFAのpros & cons：敗血症診療における検証
日本救急医学会多施設共同試験特別委員会　小倉　裕司

15：40 ～ 16：45

パネルディスカッション１　関連セッション

救急医療体制におけるドクターカー・ドクターヘリの意義

座長　埼玉医科大学総合医療センター　高度救命救急センター　杉山　聡
聖隷三方原病院　高度救命救急センター　早川　達也

MRP01-1　遠隔地発症の超急性期虚血性脳卒中診療におけるドクターヘリの有用性
高知県・高知市病院企業団立　高知医療センター　脳神経外科　福田　真紀

MRP01-2　ドクターヘリは小児患者に対しても有効なシステムなのか？
筑波大学附属病院　救急・集中治療科　榎本　有希

MRP01-3　ドクターカー・ドクターヘリは院外心停止症例の予後・転帰を改善できるか？
水戸済生会総合病院　救命救急センター　救急科　菊地　斉

MRP01-4　傷病者接触まで10分以内ならDrCar出動は心原性院外心肺機能停止の社会復帰率を高める可能性がある
加古川中市民病院　救急科　切田　学

MRP01-5　東京都におけるドクターカーの活動概況
日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　五十嵐　豊

MRP01-6　埼玉県都市部におけるドクターカーの課題
さいたま赤十字病院　高度救命救急センター　田口　茂正

MRP01-7　地方都市型ドクターカー事業のすすめ
徳島赤十字病院　高度救命救急センター　救急部　吉岡　勇気

16：45 ～ 18：00

シンポジウム1　関連セッション

救急医療のあり方：Next Generationに向けて

座長　医療法人社団　親樹会恵泉クリニック　太田　祥一
社会医療法人　緑泉会　米盛病院　冨岡　譲二

MRS01-1　将来に向けた救急医療のパラダイムシフト：地方型救命救急センターの形
総合病院国保旭中央病院　救命救急センター　高橋　功
MRS01-2　時代と地域ニーズに合致した救急医療の将来
岸和田徳洲会病院　救命救急センター　鍛冶　有登
MRS01-3　本邦における救急医療のあり方：Next generationとしての北米型ER施設の必要性
横浜労災病院　救命救急センター　大屋　聖郎
MRS01-4　非都市部における救急医療のあり方―急性期脳梗塞診療への取り組みから
公立豊岡病院但馬救命救急センター　藤田　健亮
MRS01-5　救急隊トリアージによる母体救命搬送システム症例の検証
日本赤十字社医療センター　救急科　牧　賢郎
MRS01-6　ER併設IVR-CT室を利用したハイブリッドER ～導入からドクターヘリとの連携運用まで
徳島県立中央病院　大村　健史
MRS01-7　在宅医療と救急医療の一体化による高齢者救急への取り組み
医療法人社団永生会　南多摩病院　加藤　宏
MRS01-8　重症救急患者における1年後の健康度
日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター　齋藤　伸行

第8会場【パシフィコ横浜　会議センター　3階　304】

09：30 ～ 10：40

口演2

ドクターカー

座長　兵庫県災害医療センター　高度救命救急センター　松山　重成
公立豊岡病院　但馬救命救急センター　後藤　保

O02-1　当院におけるドクターカー運用の現状と今後の課題
松波総合病院　救急科　森岡　貴勢
O02-2　地方でのドクターカー運用―長距離患者搬送におけるドクターカーの役割についての検討
医療法人鉄蕉会　亀田総合病院　救命救急センター　不動寺純明
O02-3　ドクターヘリ補完事業としての当院ドクターカー運用の現状と展望
順天堂大学医学部附属静岡病院　救急診療科　石川　浩平
O02-4　小児ドクターカー運用開始2年半を経過してのその有用性の検討
兵庫県立尼崎総合医療センター　小児救急集中治療科　山上　雄司
O02-5　ドクターカーを運用する県内複数医療機関における共通データベース構築の試み
国立病院機構　横浜医療センター　古谷　良輔
O02-6　STEMIに対する都市型ドクターカーの時間短縮効果
日本赤十字社　さいたま赤十字病院　救急科　加藤　駿一
O02-7　東京都心部における現場派遣型ドクターカーの運用について
東京医科歯科大学医学部附属病院　救命救急センター　加藤　渚
O02-8　東京都内でのドクターカー運行開始を目指して
昭和大学病院　救命救急センター　八木　正晴

10：40 ～ 11：50

口演3

病院前医療・救護・MC　1

座長　常滑市民病院　救急医療センター　中川　隆
川崎市立多摩病院　救急災害医療センター　田中　拓

O03-1　急性冠症候群による病院前Vfは減っているか？～宮崎県北部の動向より
宮崎県立延岡病院　救命救急科　遠藤　穣治

O03-2　特定行為の包括指示化による初回アドレナリン投与時間短縮効果をシミュレーションで分析する
札幌医科大学　医学部　救急医学講座　沢本　圭悟

O03-3　救急車内収容前薬剤投与は院外心停止患者の病院前自己心拍再開率を上昇させる
信州大学　医学部　救急集中治療医学教室　望月　勝徳

O03-4　ロトコール改正によるVF治療成績の変化
静岡県立総合病院　高度救命救急センター　春田　浩一

O03-5　クラウド型心電図伝送システムを用いたST上昇型心筋梗塞症例への病院前診療
筑波メディカルセンター病院　新井　晶子

O03-6　循環器救急における救命救急医との連携の重要性はさらに高まっている！
日本医科大学武蔵小杉病院　循環器内科　大熊　慧

O03-7　救命救急センター密集地域のドクターヘリ生き残りとドクターカー共存体制確立への取り組み
愛知医科大学病院　寺島　嗣明

O03-8　地方における病院前救急（松本広域ドクターカーと信州ドクターヘリ松本）
信州大学医学部附属病院　高度救命救急センター　高山　浩史

14：20 ～ 15：30

口演4

航空医療

座長　手稲渓仁会病院　救命救急センター　奈良　理
公立豊岡病院　但馬救命救急センター　藤田　健亮

O04-1　岩手県の救急医療におけるドクターヘリの役割
岩手医科大学　救急・災害・総合医学講座　救急医学分野　山田　裕彦

O04-2　島根県ドクターヘリ事業7年間の検討
島根県　健康福祉部　山崎　一幸

O04-3　徳島県における病院前医療について～ドクターヘリ基地病院からの考察
徳島県立中央病院　救急科　佐尾山裕生

O04-4　高齢化社会における静岡県西部ドクターヘリの役割について
聖隷三方原病院　高度救命救急センター　早川　達也

O04-5　地域救急医療体制にドクターヘリをどう組み込むか～信州ドクターヘリにおける考察
JA長野厚生連　佐久医療センター　田中　啓司

O04-6　ドクターヘリ搬送の有効性の検証
札幌医科大学　医学部　麻酔科学講座　本間　広則

O04-7　ドクターヘリは充足しているのか？：民間医療ヘリ・民間ドクターカー運用から見えてきた事実
社会医療法人緑泉会　米盛病院　救急科　冨岡　譲二

O04-8　ドクターヘリ相互応援協定締結後における現状と課題
佐賀大学医学部附属病院　高度救命救急センター　岩村　高志

15：30 ～ 16：30

口演5

集中治療

座長　山口大学大学院　医学系研究科　救急・総合診療医学講座　鶴田　良介
日立総合病院　救急集中治療科　奈良場　啓

O05-1　救急外来経由で集中治療を要した患者の検討
NTT東日本関東病院　集中治療部　麻酔科　小松　孝美

O05-2　当院における集中治療の現況と今後
虎の門病院　集中治療科　石井　健

O05-3　Association of Driving Pressure with Mortality among Ventilated Patients with Acute Respiratory Distress Syndrome
トロント大学　集中治療学講座　青山　紘子

O05-4　当施設での，加温療法，冷却療法，target temperature management（TTM）における，体表面デバイスと血管内デバイスの比較
佐賀大学医学部附属病院　高度救命救急センター　鳴海　翔悟

O05-5　集中治療室へ入室する患者における強い口渇の予測因子
金沢大学附属病院　集中治療部　佐藤　康次

O05-6　濃グリセリン・果糖液がもたらす一過性の高乳酸血症：prospective observational study
自治医科大学　麻酔科学・集中治療医学講座　集中治療医学部門　方山　真朱

O05-7　EHD現象を用いた新しい駆血装置の開発
順天堂大学　医学部　整形外科・東京都リハビリテーション病院　前田　浩行

17：30 ～ 18：30

委員会報告3

第1回JAAM多施設共同院外心停止レジストリ成果報告会

司会　東京大学大学院　医学系研究科　救急医学, OHCA特別委員会委員長　森村　尚登
京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター, 同委員　石見　拓

CR03-1　JAAMレジストリ概要
京都大学　石見　拓

CR03-2　成果報告1（プロファイル論文）
大阪大学　北村　哲久

CR03-3　成果報告2（TTM温度別論文）
大阪大学　入澤　太郎

CR03-4　まとめ
東京大学　森村　尚登

第9会場【パシフィコ横浜　会議センター　3階　311+312】

09：30 ～ 10：30

口演6

感染症　1

座長　川崎医科大学　救急医学　荻野　隆光
岐阜県総合医療センター　小児感染症内科・救急科　松波　邦洋

O06-1　緊急室での感染症診療に平日と日曜祝日での転帰の違いはあるか？～後ろ向きコホート研究
亀田総合病院　救命救急科　南　三郎

O06-2　蜂窩織炎はいつ多いのか？
済生会熊本病院　救急総合診療センター　中村　悠太

O06-3　当院における塗抹陽性肺結核患者の背景因子の検討
川崎市立川崎病院　救命救急センター　救急科　植松　敬子

O06-4　当院におけるA群β溶連菌感染症の重症度とemm遺伝子型の関連について
名古屋市立大学病院　救命救急センター　五島　隆宏

O06-5　日本紅斑熱の診断の遅れ
日本赤十字社和歌山医療センター　救急科部　久保　真佑

O06-6　実名報道された救急病院での麻疹対応について
名古屋第二赤十字病院　丸山　寛仁

O06-7　麻疹アウトブレイク2018 in 沖縄～救急の現場で体験し，感じたこと
沖縄ERサポート　林　峰栄

10：30 ～ 11：40

口演7

感染症　2

座長　金沢大学　麻酔・集中治療医学　谷口　巧
藤沢市民病院　救命救急センター　長嶋　一樹

O07-1　当院における肺炎診療の現状と課題
国立病院機構　熊本医療センター　救命救急・集中治療部　北田　真己

O07-2　65歳未満のワクチン非対象患者に発症した侵襲性肺炎球菌感染症の検討
済生会熊本病院　救急総合診療センター　中嶋いくえ

O07-3　当院における電撃性紫斑病を呈した侵襲性肺炎球菌感染症5例の臨床的検討
自治医科大学附属病院　救命救急センター　田中　保平

O07-4　熱傷受傷時の汚染水曝露と*Aeromonas hydrophila*感染
JCHO　中京病院　救急科　黒木　雄一

O07-5　壊死性筋膜炎と診断し集中治療を要した8例の検討と今後の治療戦略について
藤田保健衛生大学病院　救急総合内科　湯川　貴史

O07-6　重症胃蜂窩織炎4例の検討
東京慈恵会医科大学附属柏病院　救命救急センター　谷島　和

O07-7　時間的地域的に集中した劇症型溶血性レンサ球菌感染症の3例
岐阜大学医学部附属病院　高度救命救急センター　山田　法顕

O07-8　降下性壊死性縦隔炎の治療中に感染性顔面動脈瘤破裂を合併した1例
兵庫県立加古川医療センター　救急科　山下　貴弘

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー8

座長　深谷赤十字病院　外傷救命救急センター　金子　直之

LS8　**簡単そうで難しい熱傷創感染**

独立行政法人　地域医療機能推進機構　中京病院　中島　紳史

共催：アルケア株式会社 / オリンパステルモバイオマテリアル株式会社

14：20 ～ 15：30

口演8

重症度・予後予測

座長　日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター　本村　友一
大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター　中尾俊一郎

O08-1　交通外傷事案における受傷機転に基づく重症度判断の有用性について
東京消防庁　上野消防署　坂井　豪

O08-2　「鼻の無い」車に乗車した場合の交通外傷は重症化するか？：Cab-overとbonnet車の比較コホート研究
福島県立医科大学　臨床研究イノベーションセンター　伊藤　文人

O08-3　外傷患者におけるHeparin Binding Proteinと重症度との関連
新潟大学医歯学総合病院　高次救命災害治療センター　上村　夏生

O08-4　ドクターカー症例の病院前におけるNational Early Warning Scoreの有効性と問題点について
宮崎県立宮崎病院　救命救急科　青山　剛士

O08-5　Japanese triage and acuity scaleに年齢的要素を加味したトリアージスケールは正確性を高められる
東京ベイ・浦安市川医療センター　救急集中治療科　富田　静香

O08-6　救命センターにおける尿中L-FABP測定の意義
東邦大学医療センター大森病院　救命救急センター　鈴木　銀河

O08-7　気道熱傷患者における遅発性上気道狭塞のリスク因子の検討
慶應義塾大学　医学部　救急医学教室　松村　一希

O08-8　当院における災害時多数緊急手術対応訓練の経験
富山県立中央病院　小宮　良輔

15：30 ～ 16：30

口演9

モニタリング

座長　昭和大学藤が丘病院　救急医学科　林　宗貴
日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　富永　直樹

O09-1　Urine oxygen tension monitoringの衝撃
稲沢市民病院　麻酔・救急・集中治療部門　貝沼　関志

O09-2　重症患者管理におけるHRVの意義～けっきょく何がわかって何がわからないか
自治医科大学　医学部　救急医学講座　救命救急センター　間藤　卓

O09-3　迅速脳波モニタリングの臨床導入とその有用性
国際医療福祉大学熱海病院　神経内科，脳卒中神経センター　梁　成勲

O09-4　救急集中治療室における長時間ビデオ脳波モニタリングの役割
東北大学病院　生理検査センター　浅黄　優

O09-5　救急患者におけるCapillary Refilling Time（CRT）測定の精度向上に向けて
千葉大学大学院　医学研究院　救急集中治療医学　川口　留以

O09-6　救急現場に適合した組織酸素飽和度測定装置の新規開発
千葉大学大学院　医学研究院　救急集中治療医学　高橋　希

O09-7　敗血症患者の輸液反応性評価における2つの機器を用いた受動的下肢挙上試験の有用性の検討
済生会熊本病院　救急総合診療センター　杉本　龍

第10会場【パシフィコ横浜　会議センター　3階　313+314】

09：30 ～ 10：30

口演10

頭部外傷　1

座長　国家公務員共済組合連合会　立川病院　救急科　並木　淳
米盛病院　救急科・脳神経外科　井上　泰豪

O10-1　頭部打撲での転帰に飲酒が与える影響についての検討
東京ベイ・浦安市川医療センター　救急集中治療科　山崎さつき

O10-2　転倒患者における飲酒による頭頸部顔面外傷受傷リスクの増加
慶應義塾大学　医学部　救急医学教室　拜殿　明奈

O10-3　血液透析患者における脳外傷の転帰と課題
筑波大学附属病院日立社会連携教育研究センター・日立総合病院　脳神経外科　小松　洋治

O10-4　頭部外傷患者における開頭手術施行の危険因子の検討
東京都立多摩総合医療センター　救命救急センター　鈴木　大聡

O10-5　重症頭部外傷における大量出血の予測因子としてのフィブリノゲン値の利用
済生会横浜市東部病院　救命救急センター　中道　嘉

O10-6　頭部単独外傷における予後予測因子としてのGlucose/ K 比の有用性
川口市立医療センター　救命救急センター　藤木　悠

O10-7　頭部外傷を主病名とした多発部位外傷患者の入院治療成績：救命救急センターを併設する20病院のDPCデータ14,000件の解析
市立四日市病院　救命救急センター　柴山美紀根

10：30 ～ 11：40

口演11

画像

座長　岩手医科大学　医学部　救急・災害・総合医学　救急医学分野　井上　義博
千葉大学　救急集中治療医学　田中久美子

O11-1　PET-CTによる無気肺の代謝活性評価
東京医科歯科大学大学院　医歯学総合研究科　生体集中管理学分野　日下　琢雅

O11-2　救急外来でのCT見落としに学ぶ
済生会熊本病院　救急総合診療センター　古川　由人

O11-3　酸素吸入法を用いた光トポグラフィーによる急性期脳虚血診断
菅間記念病院　脳神経外科　田中　裕一

O11-4　ECMO駆動中の出血に対する血管内塞栓術
北里大学医学部　救命救急医学　栗原祐太朗

O11-5　頭頸部癌による急性出血に対する動脈塞栓術の検討
神戸大学医学部附属病院　放射線科　血管内治療センター　小出　裕

O11-6　当院における大腸憩室出血に対する治療戦略の検討
京都第二赤十字病院　救命救急センター　救急科　平木　咲子

O11-7　救命救急医によるステント治療
山梨県立中央病院　救命救急センター　川島　佑太

O11-8　Hybrid ERにおけるREBOAの使用経験
大阪急性期・総合医療センター　高度救命救急センター　道味　久弥

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー9

座長　東京医科歯科大学大学院　医歯学総合研究科　救急災害医学分野　大友　康裕

LS9　抗血栓薬内服患者における救急患者対応 ～ “Think FAST” campaign始動
自治医科大学附属さいたま医療センター　救命救急センター　救急部　守谷　俊

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

14：20 ～ 15：20

口演12

骨盤四肢外傷　1

座長　帝京大学医学部附属病院　外傷センター　黒住　健人
岐阜大学医学部附属病院　高度救命救急センター　三宅　喬人

O12-1　OTA開放骨折分類は四肢長管骨開放骨折後の感染と関連があるか？
帝京大学医学部附属病院　外傷センター　石井　桂輔

O12-2　小児重症四肢外傷における治療の問題点～開放骨折を合併した両側下肢骨折症例の経験より
岐阜大学医学部附属病院　高次救命治療センター　坂口　健人

O12-3　大腿骨近位部骨折におけるHigh risk患者の検討
藤田医科大学病院　救急総合内科　小川　広晃

O12-4　救急外来での橈骨遠位端骨折徒手整復は手術回避に役立つか
東京ベイ・浦安市川医療センター　樋渡智香子

O12-5　四肢外傷手術における術前lactate clearanceと術後合併症に関する検討
慶應義塾大学　医学部　救急医学　西田　有正

O12-6　救急医による，高齢者大腿骨近位部骨折に対する早期手術の取り組み
藤田保健衛生大学　救急科　田島　康介

O12-7　ERにおける超音波ガイド下末梢神経ブロックの経験
医療法人社団埼玉巨樹の会　新久喜総合病院　整形外科　佐伯　辰彦

15：20 ～ 16：20

口演13

骨盤四肢外傷　2

座長　りんくう総合医療センター　大阪府泉州救命救急センター　松岡　哲也
福島県立医科大学　救急医療学講座　反町光太朗

O13-1　独立型救命救急センターにおける外傷整形外科医による胸腰椎破裂骨折の治療成績
大阪府立中河内救命救急センター　舟久保岳央

O13-2　独立型救命救急センターにおける整形外科外傷治療の現状
大阪府立中河内救命救急センター　岸本　正文

O13-3　急性期骨盤骨折に対するカテーテル塞栓術の検討～ IVRチームとの協働の有用性
岐阜大学医学部附属病院　高度救命救急センター　三宅　喬人

O13-4　切断指の搬送前診断でドクターヘリ搬送された症例における再接合術施行割合
湘南鎌倉総合病院　外傷センター　吉田　直記

O13-5　全身CTの一環として撮影された脛骨骨幹部骨折の空気像存在に関する検討
帝京大学医学部附属病院　外傷センター　鈴木　卓

O13-6　鈍的頸椎外傷に伴う椎骨動脈損傷の病態
国立病院機構　仙台医療センター　脳神経外科　鈴木　晋介

O13-7　四肢外傷後に続発した急性肝不全と敗血症性ショック：症例報告
亀田総合病院　救命救急科　戴　黎

第11会場【パシフィコ横浜　会議センター　4階　411+412】

09：30 ～ 10：40

口演14

小児　1

座長　東京大学大学院　医学研究科　救急科学　問田　千晶
済生会滋賀県病院　救命救急センター　小児救命救急科　松浦　潤

O14-1　日本小児救急医学会・調査研究委員会が展開中の小児救急重篤疾患登録調査の現状
日本小児救急医学会　調査研究委員会　伊藤　陽里

O14-2　重篤小児救急患者の現状―福岡県重篤小児救急患者調査の結果から
九州大学病院　賀来　典之

O14-3　救命センターに搬送された小児外傷患者の疫学，治療，死亡率～日本外傷データバンクデータを用いて
群馬大学大学院　医学系研究科　救急医学　青木　誠

O14-4　地方三次救命救急センターにおける小児重症外傷の治療の現況と今後の課題
福井県立病院　救命救急センター　谷崎　真輔

O14-5　静岡県における小児交通外傷は軽症化しているか？
北九州市立八幡病院　小児科　小林　匡

O14-6　小児救急医療に求められる家庭看護力の醸成
北九州市立八幡病院　小児救急センター　西山　和孝

O14-7　当院における入院を要した小児熱傷患者の検討
埼玉県立小児医療センター　集中治療科/救急診療科　山田　香里

O14-8　小児熱傷における熱傷医との建設的コラボレーションについて
JCHO　中京病院　救急科・熱傷センター　中島　紳史

10：40 ～ 11：40

口演15

小児　2

座長　岸和田徳洲会病院　救命救急センター　鍛冶　有登
東京都立小児総合医療センター　救命・集中治療科　救命救急科　竹井　寛和

O15-1　救命救急センターにおける小児救急シート導入の効果と課題
横浜市立大学附属市民総合医療センター　高度救命救急センター　篠原　真史

O15-2　小児外傷患者ににおいて現場から病着までのバイタルサイン変化は予後と相関するか
東京ベイ・浦安市川医療センター　小川　敦裕

O15-3　小児外傷患者におけるCT造影剤による腎機能への影響
静岡県立こども病院　北村　宏之

O15-4　当院救急外来における小児の頭部外傷に対するNICEルールの有用性の検討
一宮市立市民病院　小児科　滝藤明日香

O15-5　小児頭部外傷においてFDP値測定は不要な頭部CT検査を減らすか？
日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター　尾川　陽

O15-6　当院における小児上腕骨顆上骨折に対する緊急手術治療の検討
福岡和白病院　整形外科　来間　裕一

O15-7　小児痙攣重積患者における治療開始までの時間と予後との関連
公立豊岡病院　但馬救命救急センター　後藤　保

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー 10

座長　順天堂大学医学部　救急・災害医学　射場　敏明

LS10　敗血症の救命にかける情熱ーエンドトキシン吸着療法の現状と未来
信州大学　医学部　救急集中治療医学教室　望月　勝徳

共催：東レ株式会社/東レ・メディカル株式会社

14：20 ～ 15：00

口演16

Rapid Response System

座長　三重大学病院　救命救急センター　今井　寛
千葉大学大学院　医学研究院　救急集中治療医学　川口　留以

O16-1　患者急変を早期覚知する「急変予測スコア」の導入とその効果
堺市立総合医療センター　救命救急センター　中田　康城

O16-2　当院での急変時対応システムの運用状況
大阪医療センター　救命救急センター　曽我部　拓

O16-3　重篤な院内急変後に集中治療を施行した症例の検討
飯塚病院　集中治療部　安達　普至

O16-4　早期警告スコアをカルテに視覚的に表示することで予期せぬ心停止は減少するか？
石巻赤十字病院　救命救急センター　小林　道生

O16-5　救急外来での入院時NEWSスコアは何を意味するか？
国立病院機構　嬉野医療センター　救急科　藤原　紳祐

15：00 ～ 15：40

口演17

呼吸管理

座長　山形大学　医学部　麻酔科　川前　金幸
中東遠総合医療センター　救急科　松島　暁

O17-1　緊急気管挿管における抜管後上気道症状のリスク因子について
横浜市立大学附属市民総合医療センター　高度救命救急センター　篠原　真史

O17-2　気管挿管における，所要時間の詳細と成功との関連の検討
東京ベイ・浦安市川医療センター　横山　和久

O17-3　高齢と主気管支挿管の相関関係の検討
東京ベイ・浦安市川医療センター　救急集中治療科　救急外来部門　石丸　忠賢

O17-4　救急外来におけるNPPV導入症例の実態について
公立陶生病院　救急部　樋口　知之

O17-5　ネーザルハイフロー酸素療法はネブライザー付酸素吸入器よりも抜管後の再挿管を減少させるか：単施設RCT
国立国際医療研究センター病院　松田　航

15：40 ～ 16：20

口演18

栄養管理

座長　兵庫医科大学　救急災害医学　白井　邦博
日本大学病院　救急科　水落　美紀

O18-1　急性期敗血症患者における栄養管理
東京女子医科大学東医療センター　救命救急センター　吉川　和秀

O18-2　頸髄損傷患者におけるCT腸腰筋面積と筋減少率の検討
東海大学　医学部　外科学系　救命救急医学　青木　弘道

O18-3　救命救急センター入院患者の亜鉛欠乏に関する検討
長崎大学病院　高度救命救急センター　山野　修平

O18-4　エネルギー制限高蛋白乳清ペプチド消化態流動食を活用した急性期栄養管理プロトコル導入による効果の検討
日本赤十字社医療センター　救急科　宮城　隆志

O18-5　リフィーディング症候群患者の死亡例の検討～予後改善へ向けて
関西医科大学総合医療センター　中村　佳裕

第12会場【パシフィコ横浜　会議センター　4階　413】

09：30 ～ 10：40

口演19

外傷　1

座長　堺市立総合医療センター　救命救急センター　中田　康城
日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　溝渕　大騎

O19-1　初療室への画像診断装置設置前後の外傷患者治療成績の比較検討
済生会横浜市東部病院　古郡慎太郎

O19-2　外傷読影におけるFACTの有効性の検証
聖マリアンナ医科大学　救急医学　岡本賢太郎

O19-3　外傷パンスキャンに体幹部非造影CTは必要か
東京女子医科大学八千代医療センター　画像診断・IVR科　三浦　剛史

O19-4　重症頭部外傷における損傷形態の違いによるDIC合併のリスク因子の検討
国立病院機構　災害医療センター　救命救急科　井上　和茂

O19-5　口腔・咽頭杙創の臨床的検討（診療アルゴリズムの作成に向けて）
埼玉県立小児医療センター　救急診療科　江濱　由松

O19-6　安定型骨盤輪骨折におけるextravasationの予測因子に関する検討
大分大学　救命救急科　野谷　尚樹

O19-7　交通事故の原因として睡眠時呼吸障害が隠れていませんか
自治医科大学附属さいたま医療センター　救命科　守谷　　俊

O19-8　学会開催日とその前後で外傷患者の死亡率に差はあるか？～日本外傷データバンクより
岡山大学病院　救命救急科　湯本　哲也

10：40 ～ 11：50

口演20

外傷　2

座長　大阪急性期・総合医療センター　高度救命救急センター　藤見　聡
日本医科大学付属病院　救命救急科　瀧口　徹

O20-1　外傷後静脈血栓塞栓症の有効かつ安全な予防法に関する検討
長崎大学病院　高度救命救急センター　井山　慶大

O20-2　大動脈のCT値を利用した重症外傷患者における新規大量輸血予測ツールの開発
岡山大学病院　高度救命救急センター　庵谷　紘美

O20-3　ハイブリッドERにおける外傷初期診療アルゴリズム ～ハイブリッドER版JATEC施行の試み
島根大学医学部附属病院　高度外傷センター　渡部　広明

O20-4　外傷における大動脈遮断術の適正使用の検討
愛知医科大学　救命救急科　津田　雅庸

O20-5　適切な患者選択によりREBOAは救命率向上の手段となりうる
済生会宇都宮病院　救急科　鯨井　大

O20-6　フィブリノーゲン製剤とカテコラミン早期使用の追加によるMTPの再定義
埼玉医科大学総合医療センター　高度救命救急センター　今本　俊郎

O20-7　外傷患者に対するクリオプレシピテートの使用に関する検討
長崎大学病院　高度救命救急センター　上村　恵理

O20-8　クリオプレシピテートを使用したMassive Transfusion Protocolの実際と治療成績
熊本赤十字病院　外傷外科　林田　和之

14：20 ～ 15：00

口演21

外傷　3

座長　深谷赤十字病院　外傷・救命救急センター　金子　直之
東京大学　医学部　救急科　早瀬　直樹

O21-1　高エネルギー事故におけるシートベルトの効果について;当院における過去16年間の検討
太田西ノ内病院　救命救急センター　篠原　一彰

O21-2　衝撃波・爆風発生装置を用いた急性期爆傷モデルによる，防弾チョッキ着用の防御効果
防衛医科大学校　病院救急部　関根　康雅

O21-3　ラット頭部衝撃波外傷（第一次爆傷）モデルにおける呼吸・循環動態への影響
大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター　松浦　裕司

O21-4　救急車の路面振動軽減のための数理的な前方予測
東海大学　医学部　救命救急医学　中島　功

15：00 ～ 15：50

口演22

中毒　1

座長　日本医科大学　高度救命救急センター　宮内　雅人
大分大学医学部附属病院　高度救命救急センター　黒澤　慶子

O22-1　当センターの過去10年間の医薬品中毒の患者数の推移と長期ICU入室の予測因子の解析
山口大学医学部附属病院　先進救急医療センター　藤田　基

O22-2　第二種装置所有施設における急性期高気圧酸素療法の現状
京都大学大学院　医学研究科　初期診療・救急医学講座　趙　晃済

O22-3　マムシ咬傷の来院時血液検査による重症度予測に関する検討
順天堂大学医学部附属静岡病院　救急診療科　竹内　郁人
O22-4　血小板機能と血液凝固系に及ぼすマムシ毒の影響
佐賀大学医学部附属病院　救急医学講座　三池　徹
O22-5　文献からみた過去27年間のマムシ咬傷分析
日本赤十字社和歌山医療センター　救急集中治療部　辻本登志英
O22-6　当院におけるマムシ咬傷103例の抗毒素投与に関する検討
聖隷三方原病院　高度救命救急センター　殷　加耶

15：50 ～ 16：30

口演23

中毒　2

座長　一宮市立市民病院　救命救急センター　山口　均
宮崎大学医学部附属病院　救命救急センター　中村　仁彦

O23-1　当院ER型救急でのアルコール関連入院の検討
横浜労災病院　救命救急センター　木下　弘壽
O23-2　当院におけるアセトアミノフェン過量内服患者の検討
勤医協中央病院　救急センター　井上　智之
O23-3　有機リン中毒患者の長期挿管予測因子の検討
山梨県立中央病院　救命救急センター　跡部かおり
O23-4　急性中毒症例の搬送困難例における背景因子の検討
独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター　救命救急センター　田中　太助
O23-5　三次救急医療施設における急性薬物中毒患者の特性及び医療介入の現状
東京女子医科大学東医療センター　救命救急センター　鈴木　美麗

第13会場【パシフィコ横浜　会議センター　4階　414+415】

09：30 ～ 10：30

口演24

ER診療　1

座長　筑波メディカルセンター病院　救命救急センター　河野　元嗣
京都第一赤十字病院　救急科　藤本　善大

O24-1　自動車運転中の交通事故の誘因となる内因性疾患等の検討
川崎市立川崎病院　救命救急センター　田熊　清継
O24-2　Recreational sportでも心停止の発生に備える必要がある
広島市立広島市民病院　救急科　前田　啓佑
O24-3　心拍変動パワースペクトル解析による神経調節性失神患者の病態解析
順天堂大学大学院　医学研究科　救急・災害医学研究室　秋月　光
O24-4　応需時に合併症・併存症の情報がない急性アルコール中毒患者における合併症・併存症の検討
川崎市立川崎病院　救命救急センター　田熊　清継
O24-5　採血時の消毒操作における血中エタノール混入有無の検討
近畿大学　医学部　救急医学　中尾　隆美
O24-6　救命救急センターにおけるOncologic Emergencyの検討
日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　前島　璃子
O24-7　五苓散と呉茱萸湯の同時投与を用いた急性頭痛に対する10分間トリアージについて
医療法人正紘和会　みさとファミリークリニック　松田　正

10：30 ～ 11：40

口演25

ER診療　2

座長　　神戸市立医療センター中央市民病院　救命救急センター　　有吉　孝一
東京大学　救急科　　堀江　良平

O25-1　労働災害における外傷の重症度に関係する要因について
大阪大学　医学部　公衆衛生学　　花木　奈央

O25-2　救急外来でCTを撮影し，後日連絡を要した症例の検討
帝京大学　医学部　救急医学講座　　玉井　大地

O25-3　貧困と救急医療～無料低額診療制度の適用を必要とした救急患者の医学的，社会的背景について
耳原総合病院 総合診療センター　　田端　志郎

O25-4　入院とならないがソーシャルワークが必要な診療
京都市立病院　救急科　　國嶋　　憲

O25-5　救急外来における緊急穿頭ドレナージ術介助に対する看護師の不安軽減への取り組み
株式会社日立製作所　日立総合病院　救命救急センター　　浅見　空美

O25-6　救急外来死亡患者の近親者における複雑性悲嘆の発生予測
淀川キリスト教病院　救急科　　堀　　雅俊

O25-7　来院からトリアージまでの時間に影響を与える因子の検討
板橋中央総合病院　看護部　　梅原　俊恵

O25-8　受診待ち時間短縮への取り組み，TOYOTAグループと連携した医療の質向上をリードする養成プログラムを通して
愛知県厚生連　安城更生病院　救急科・救命救急センター　　寺西　智史

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー 11

座長　　大阪市立大学大学院　医学研究科　救急医学　　溝端　康光

LS11　救急外来とプレホスピタルにおける骨髄輸液の現状と未来～諦めが許されない静脈路確保，次の一手～
聖マリアンナ医科大学　救急医学　救命救急センター　　森澤健一郎

共催：テレフレックスメディカルジャパン株式会社

14：20 ～ 15：20

口演26

ER診療　3

座長　　川崎市立川崎病院　救命救急センター　　田熊　清継
名古屋掖済会病院　救急科　　前田　　遥

O26-1　kidney size for early detection of contrast-induced nephropathy in the emergency department setting
岡山済生会総合病院　救急科　　本郷　貴識

O26-2　救急外来おける市中肺炎患者に対する血液培養陽性となる因子の検討
東京ベイ・浦安市川医療センター　　梅谷　一公

O26-3　Sepisis-3時代にERで遭遇するsepsis mimicker
聖隷浜松病院　救急科　　土手　　尚

O26-4　救急搬送された急性腰痛患者の検討
磐田市立総合病院　救急科　　植野　正英

O26-5　当院救急外来における環軸椎回旋位固定（AARS）の検討
東京ベイ・浦安市川医療センター　救急集中治療科　櫻井　千浪
O26-6　節分の恵方巻き窒息症例と検案事例から見た誤嚥窒息の検討
滋賀医科大学　医学部　社会医学講座　法医学部門　古川　智之
O26-7　豊田厚生病院救命救急センターにおける「異物」の確認された症例4年分の解析
JA愛知厚生連　豊田厚生病院　救命救急センター　都築　通孝

15：20 ～ 16：10

口演27

ER診療　4

座長　帝京大学ちば総合医療センター　救急科　山下　雅知
聖路加国際病院　救急部　岩﨑　任

O27-1　二次救急医療機関におけるER受診症例の診療科領域別分類調査
大阪府済生会野江病院　救急集中治療科　鈴木　聡史
O27-2　救急外来を24時間以内に再診した重症患者の検討
焼津市立総合病院　富田　守
O27-3　処方薬の有害事象による救急搬送を調査する
順天堂大学医学部附属練馬病院　救急・集中治療科　関井　肇
O27-4　スマホアプリを用いた携帯型救急キット（救急タグ）は海外渡航者の搬送受入の円滑化に寄与するか
大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター　酒井　智彦
O27-5　一救急病院が搬送困難患者減少に対してできることを考える～救急隊記録からの考察
自衛隊中央病院　救急科　寺山　毅郎
O27-6　救急搬送時のバイタルサイン変化で非外傷患者の院内死亡を予測できるか; 観察コホート研究
福井大学医学部附属病院　救急・総合診療部　神川　洋平

ポスター会場【パシフィコ横浜　展示ホール　1階　展示ホールA】

16：30 ～ 17：20

ポスター1

心肺停止　1

座長　金沢大学　医薬保健研究域　医学系　循環救急蘇生科学（救急医学）　稲葉　英夫
大阪府三島救命救急センター　清水　木綿

P001-1　緊張性膿胸によって心停止に至ったと思われる1例
帝京大学ちば総合医療センター　救命救急センター　河合　優一
P001-2　心停止に至った肺塞栓症のリスクとしてリスパダール筋注が考慮された一例
浦添総合病院　救急集中治療部　喜久山紘太
P001-3　即時性死後硬直様の下肢硬直を来した心停止の救命例
京都第二赤十字病院　救命救急センター　岡田　遥平
P001-4　高カリウム（K11.1mEq/l）血症による心肺停止CPAを救命できた1例
千葉西総合病院　循環器科　新田　正光
P001-5　急性腎障害を契機に発症した塩酸ピルシカイニド中毒による心停止の1例
JA広島総合病院　臨床研修科　岩田和佳奈
P001-6　痙攣重積で搬送され，心筋出血により死亡した一剖検例
埼玉医科大学総合医療センター　救急科　城下　翠

17：20 ～ 18：10

ポスター２

心肺停止　2

座長　帝京大学　医療技術学部　小菅　宇之
慶應義塾大学　医学部　救急医学　多村　知剛

P002-1　胸郭の硬化により有効な胸骨圧迫が困難であった1例
岐阜大学医学部附属病院　高度救命救急センター　吉山　直政

P002-2　腹臥位での下からの胸骨圧迫による心肺蘇生～労災事故現場での経験から
近畿大学医学部附属病院　救命救急センター　植嶋　利文

P002-3　胸骨圧迫による肝損傷から出血性ショックをきたした1例
石川県立中央病院　救急科　蜂谷　聡明

P002-4　AEDが心室細動に対して「ショック不要」と解析判断した一例
東京医科歯科大学医学部附属病院　救命救急センター　加藤　渚

P002-5　QRS波の欠落した心房細動に対してAEDが不適切作動した一例
横浜市立大学付属市民総合医療センター　高度救命救急センター　渡邉　活

P002-6　E-CPR中に内胸動脈損傷をきたしPCI後にTAEで対応した一例
北海道大学病院　高橋　悠希

16：30 ～ 17：10

ポスター３

心肺停止　3

座長　宮崎県立延岡病院　救急センター　矢野　隆郎
順天堂大学医学部附属浦安病院　井上　樹里

P003-1　肺塞栓症による若年のCPA症例に対して, PCPSを導入し, 良い転機を得た一例
日本医科大学多摩永山病院　救命救急科　齋藤　研

P003-2　2度の心肺停止状態から社会復帰した小児例～学校教職員への心肺蘇生法の浸透について
豊田厚生病院　救命救急センター　畑田　剛

P003-3　病院前救護とECPRの連携で「救脳」した長距離心停止搬送の1例
浦添総合病院　救命救急センター　穂積　拓考

P003-4　iPS細胞由来脳血管内皮細胞を用いた血液脳関門バリア機能の評価～心停止後症候群および熱中症症例の血清の影響
大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター　清水健太郎

P003-5　司法解剖によって死因が判明した転落外傷の一例
鳥取大学医学部附属病院　救急科　吉宮　元応

17：10 ～ 18：10

ポスター４

中枢神経　1

帝京大学　医学部　救急医学講座　大貫　隆広
座長　日本医科大学多摩永山病院　救命救急センター　佐藤　慎

P004-1　嚥下困難を主訴に来院した，Hunt症候群の一例
湘南鎌倉総合病院　救急総合診療科　福井　浩之

P004-2　帯状疱疹ウイルス感染による声帯麻痺から気道緊急となった一例
県立大島病院救命救急センター　救急科　永山　純

P004-3　若年女性の意識障害：抗MNDA抗体脳炎の1例
JCHO　九州病院　救急総合診療部　出雲　明彦

P004-4　成人の尿路感染症にMERS（clinically mild encephalitis/encephalopathy with a reversible splenial lesion）を合併した1例
徳島赤十字病院　救急科　米田　龍平

P004-5　遷延する意識障害で救急搬送され鑑別に苦慮した辺縁系脳炎の一例
岡山赤十字病院　麻酔科　和田浩太郎

P004-6　シェーグレン症候群（Sjögren's syndrome；SjS）に合併した辺縁系脳炎の一例
前橋赤十字病院　集中治療科・救急科　内海　秀

P004-7　精神症状のみを生じた辺縁系脳炎，SIADH合併例について
セコメディック病院　宇藤　薫

16：30 ～ 17：20

ポスター5

中枢神経　2

座長　川口市立医療センター　救命救急センター　直江　康孝
兵庫県立加古川医療センター　救急科　清水　裕章

P005-1　インフルエンザ罹患後発症した急性小脳炎の1例
獨協医科大学病院　救命救急センター　宍戸　宏行

P005-2　初期に髄液蛋白細胞解離を呈さなかったFisher症候群の一例
日立総合病院救命救急センター　救急集中治療科　伏野　拓也

P005-3　眼科外来から救急外来紹介となったPosterior reversible encephalopathy syndrome（PRES）の一症例
琉球大学医学部附属病院　救急医学講座　救急部　玉城佑一郎

P005-4　意識変容で来院し，尿中アンフェタミン（AMP）陽性となったことで早期診断に至らなかった抗NMDA受容体脳炎の一例
市立四日市病院　救命救急センター　山本　寛之

P005-5　精神・神経症状を主訴としてER受診した肺炎球菌による感染性心内膜炎（IE）の2例
八戸市立市民病院　木村　健介

P005-6　右半身麻痺で発症した頸椎硬膜外膿瘍の一例
沖縄県立中部病院　河北　光

17：20 ～ 18：10

ポスター6

中枢神経　3

座長　宮崎大学医学部救急・災害医学　落合　秀信
東京女子医科大学　集中治療科　吉田　拓也

P006-1　外傷性くも膜下出血様の画像所見を呈した脳静脈洞血栓症を伴う硬膜動静脈瘻
自治医科大学附属さいたま医療センター　救急科　笹井　史也

P006-2　意識障害の鑑別として非痙攣重積発作を疑うべき症例の検討
東京医科大学　八王子医療センター　救命救急センター　守屋まりこ

P006-3　脳静脈洞血栓症を契機として発見された先天性アンチトロンビン欠損症の一例
福岡大学　医学部　救急医学講座　中塩舞衣子

P006-4　救命のために外科的治療を要した可逆性脳血管攣縮症候群の小児例
信州大学医学部附属病院　高度救命救急センター　深澤　寛明

P006-5　頭痛と視野障害の主訴から診断された髄膜癌腫症の一例
琉球大学医学部附属病院　救急部　平良　隆行

P006-6　高血糖性昏睡との鑑別に難渋した孤発性神経核内封入体病の1例
海老名総合病院　救命救急センター　湯川　高寛

16：30 ～ 17：30

ポスター７

頭部外傷　1

座長　昭和大学　医学部　救急・災害医学講座　土肥　謙二
奈良県立医科大学附属病院　救急科　山本　幸治

P007-1　頭部外傷後翌日の頭部CTで“Mount Fuji sign”を認めた細菌性髄膜炎の1例
熊本赤十字病院　救急科　石藏　宏典

P007-2　外傷性頭蓋内出血に対するSpectral Detected　CTの使用経験～血管外漏出の評価における有用性
市立東大阪医療センター　脳神経外科　岸　文久

P007-3　頭部外傷による耳出血が外傷性外リンパ瘻と判明し，早期手術により軽快した1例
大阪警察病院　ER・救命救急科　大井　和哉

P007-4　重症頭部外傷後の髄液漏による中心性脳ヘルニアに対し，硬膜外持続生理食塩水注入が有用であった1例
奈良県立医科大学　高度救命救急センター　古家一洋平

P007-5　抗凝固剤内服中の高齢者に発症した急性硬膜下血腫に対する神経内視鏡下小開頭血腫除去術
福岡東医療センター　脳神経外科　保田　宗紀

P007-6　血管内冷却による脳平温療法を含むトップダウン治療により良好な転帰を得た重症頭部外傷の1例
慶應義塾大学　医学部　救急医学　渋沢　崇行

P007-7　von Willebrand病を合併した硬膜下膿瘍患者の開頭手術
大阪府済生会吹田病院　脳神経外科　前川　豊伸

17：30 ～ 18：30

ポスター８

頭部外傷　2

座長　東邦大学医療センター大森病院　救命救急センター　本多　満
大阪急性期・総合医療センター　救急診療科　伊藤　弘

P008-1　軽微な頸部外傷により内頸動脈解離,仮性動脈瘤形成をきたし救命し得なかった一例
独立行政法人　国立病院機構　名古屋医療センター　救命救急センター　自見孝一朗

P008-2　鈍的頸部脳血管損傷に対して抗血小板療法が奏功した一例
東京都立墨東病院　救命救急センター　有屋田健一

P008-3　交通事故による頭部外傷後に右中大脳動脈閉塞を起こした一例
医療法人社団三成会　新百合ヶ丘総合病院　救急科　金澤　将史

P008-4　前頭洞前壁骨折後に生じた中硬膜動静脈瘻の1例
筑波メディカルセンター病院　救急診療科　田中由基子

P008-5　外傷性くも膜下出血に右視神経管損傷を合併した一例
東京大学医学部附属病院 救命救急センター・ER・集中治療部　權頭　嵩

P008-6　頭部打撲から2日後に発症した遅発性頭蓋内出血の一例
京都大学医学部附属病院　宮本　将太

P008-7　重症頭部外傷で血腫除去・外減圧術後に脳低体温療法を施行し，良好な転帰を得た小児の一症例
大分大学医学部附属病院　麻酔科・集中治療部　大地　嘉史

16：30 ～ 17：30

ポスター９

中枢神経　4

座長　岐阜県総合医療センター　豊田　泉
福井大学医学部附属病院　救急部　桑原　優大

P009-1　一過性脳虚血発作で発症し，救急外来にて診断し得たもやもや病の一成人例
東京女子医科大学　救急医学　並木みずほ

P009-2　脳梗塞患者の来院時の抗血栓療法の検討
荒尾市民病院　救急科　田畑　輝海

P009-3　身体失認，観念運動失行，失見当識，超皮質失語を呈した左島皮質後方脳梗塞の一例
東京女子医科大学　市丸　梓

P009-4　腰痛を主訴に受診し初診時に診断できなかった特発性後脊髄動脈領域の脊髄梗塞
市立福知山市民病院　地域救命救急センター　徳田　理奈

P009-5　脳梗塞を繰り返した発作性夜間ヘモグロビン尿症の一例
大阪脳神経外科病院　脳神経外科　西田　岳史

P009-6　脳卒中Ａ選定で救急搬送されたが，循環器緊急手術が必要であった症例で，最近一年で経験した7例のまとめ
森山記念病院　脳神経外科　中瀬　孝

P009-7　急性脳梗塞と急性心筋梗塞を同時に発症しt-PA静注療法を施行した1例
社会医療法人近森会　近森病院　平野　孝士

17：30 ～ 18：30

ポスター 10

循環器　1

座長　三重大学医学部附属病院　救命救急・総合集中治療センター　石倉　健
獨協医科大学病院 救命救急センター　土屋　翠子

P010-1　心肺停止を伴う肺血栓塞栓症に肝損傷を合併した一例
SUBARU健康保険組合　太田記念病院　救急科　矢嶋　尚生

P010-2　Eustachian valveに血栓捕捉を認めた，肺血栓塞栓症合併奇異性塞栓症の一例
東京都立墨東病院　救命救急センター　田邉　孝大

P010-3　肺動脈血栓症による失神で受傷した外傷性頭蓋内出血の一例
東京女子医科大学　救急医学　大城　拓也

P010-4　間質性肺炎を有する患者が静脈逆行性脳空気塞栓症を発症した1例
市立大津市民病院　救急診療科　松本　悠吾

P010-5　墜落外傷後，肝梗塞を生じ，著明な肝酵素上昇が認められた一例
兵庫県災害医療センター　福島　雅郁

P010-6　血中脂肪滴の経時変化が診断に有用だった電撃型脂肪塞栓症の一例
横浜市立みなと赤十字病院　救命救急センター　朝蔭　あゆ

P010-7　後頭蓋窩開頭術直前での骨盤内臓器に対する上腕動脈経由による塞栓術の1例
千葉県救急医療センター　脳神経外科　山内　利宏

16：30 ～ 17：20

ポスター 11

胸部外傷　1

座長　社会医療法人行岡医学研究会行岡病院　救命救急科　川嶋　隆久
杏林大学　医学部　救急医学教室　落合　剛二

P011-1　貫通銃創による右肺三葉損傷の1例
名古屋徳洲会総合病院　外科　松居　亮平

P011-2　大量喀血を伴う重症肺挫傷に対してV-V ECMOを使用し救命した1例
太田西ノ内病院　救命救急センター　杉山　拓也

P011-3　難治性気漏と血痰と感染の合併に対し肺葉切除を選択した若年外傷性肺嚢胞の1例
市立宇和島病院　呼吸器外科　根津　賢司

P011-4　若年者の外傷性右房破裂に対してECMO導入下に開胸止血術を行い救命した一例
独立行政法人国立病院機構　東京医療センター　上村　吉生

P011-5　損傷部位の術前診断が可能であった外傷性心破裂の一救命例
山口県立総合医療センター　救急科　本田　真広

P011-6　外傷性胸部大動脈損傷に対してHybrid ERで緊急ステントグラフト内挿術を施行し救命した1例
東京都立墨東病院　救命救急センター　北川　幹太

17：20 ～ 18：20

ポスター 12

胸部外傷　2

座長　東京医科歯科大学医学部附属病院　救命救急センター　加地　正人
東京都立多摩総合医療センター　救命救急センター　荒川　裕貴

P012-1　外傷性心嚢血腫をみたが，血腫の胸腔への自然破綻により閉塞が解除された一例
国立病院機構　熊本医療センター　救急・集中治療部　江良　正

P012-2　致死的不整脈を合併した小児鈍的心損傷の一例
慶應義塾大学病院　救急科　山下幾太郎

P012-3　下横隔動脈損傷の存在から早期診断に至った軽微な右横隔膜損傷
済生会福岡総合病院　救命救急センター　西田　崇通

P012-4　出血性ショックに至った外傷性肋骨骨折後の遅発性肋間動脈損傷の一例
東京女子医科大学　救急医学　鈴木　秀章

P012-5　明らかな胸郭損傷を伴わなかった外傷性胸膜外血腫
横浜市立みなと赤十字病院　救命救急センター　深澤　美葉

P012-6　胸部外傷における鎮痛を考える
岩手県立磐井病院　救急科　片山　貴晶

P012-7　徒手整復が奏功したtype1胸骨脱臼骨折の一例～5年間の胸骨骨折症例のまとめとともに
佐賀県医療センター好生館　救命救急センター　甘利　香織

16：30 ～ 17：20

ポスター 13

腹部外傷　1

座長　日本医科大学付属病院　高度救命救急センター　新井　正徳
飯塚病院　外科　由茅　隆文

P013-1　肝損傷で後腹膜血腫を認めショックに至った生後1か月の一男児例
埼玉県立小児医療センター　小児救命救急センター　今本　俊郎

P013-2　「鈍的腹部外傷に対する緊急腹腔鏡手術の有用性について」
北九州市立八幡病院　大坪　一浩

P013-3　飛騨地域における外傷性肝損傷28例の検討
高山赤十字病院　外科　間瀬　純一

P013-4　軽微な腹部外傷を契機に巨大肝嚢胞内に出血をきたし救命しえなかった症例
済生会横浜市南部病院　救急診療科　伊東　裕史

P013-5　外傷性胸腔胆汁瘻を発症した右横隔膜損傷の1例
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター　東千葉メディカルセンター　矢崎めぐみ

P013-6　保存加療が奏功した重症肝損傷の一例
東京医科大学病院　救急・災害医学分野　中村　俊貴

17：20 ～ 18：20

ポスター 14

腹部外傷　2

座長　東京都済生会中央病院　救急診療科　関根　和彦
日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター　上田太一朗

P014-1　鈍的外傷による遅発性大腸狭窄に対して，内視鏡的拡張術が奏功した1例
筑波メディカルセンター病院　救急診療科　朴　啓俊
P014-2　外傷を契機に発見された外鼠径ヘルニア（膀胱ヘルニア）の1例
社会医療法人行岡医学研究会　行岡病院　救命救急科　川嶋　隆久
P014-3　外傷により認めた胃壁内気腫症の2例
順天堂大学医学部附属静岡病院　長澤　宏樹
P014-4　遅発性脾損傷に対し Splenic Artery Embolization 施行後，Propionibacterium acnes による脾膿瘍を認めた一例
帝京大学　医学部　救急医学講座　宋　侑子
P014-5　外傷性上腸間膜静脈損傷に対して観血的修復術を施行後に難治性の腸液漏出が持続した1例
宮崎大学医学部附属病院　救命救急センター　後庵　篤
P014-6　当センターにおける外傷性腹腔内出血症例の検討
宮崎大学医学部附属病院　救命救急センター　齋藤　勝俊
P014-7　鉄パイプによる外傷性腹壁ヘルニアの1例
東京医科歯科大学附属病院　救命救急センター　川端　賢一

16：30 ～ 17：20

ポスター 15

Acute Care Surgery

座長　日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター　益子　一樹
大阪府立中河内救命救急センター　升井　淳

P015-1　開腹止血術を要した非外傷性腎動脈分枝出血の一例
東京大学医学部附属病院　救急科　栗本　美緒
P015-2　敗血症性ショックに合併した急性壊死性食道炎の1例
東北大学病院　高度救命救急センター　宮川乃理子
P015-3　高度急性胆嚢炎に対する出血量低減を目指した腹腔鏡下手術手技
京都桂病院　消化器センター外科　濱洲　晋哉
P015-4　DCS として NPWT による一時的閉胸術を行った重症胸部外傷の一例
関西労災病院　救急部　松田　知也
P015-5　当院における内因性疾患に対する Damage Control Surgery の検討
京都第二赤十字病院　救命救急センター　救急科　大岩　祐介
P015-6　救急医が担うことになった Acute Care Surgery
武蔵野赤十字病院　救命救急科　蕪木　友則

17：20 ～ 18：20

ポスター 16

IVR

座長　新座志木中央総合病院　救急科　萩原　章嘉
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター　石田健一郎

P016-1　ワルファリン内服患者の非外傷性筋肉内血腫の二例
東京女子医科大学　救急医学講座　小坂　眞司

P016-2　腎AVFに対しTAEを施行した3例
製鉄記念室蘭病院　放射線科　湯浅　憲章

P016-3　低血圧の遷延とCTから診断しIVRで救命できた後腹膜出血の一例
東京ベイ浦安市川医療センター　救急集中治療科　白根　翔悟

P016-4　経カテーテルコイル塞栓術にて治療した外傷性下殿動脈瘤の1例
洛和会音羽病院　救命救急センター・京都ER　山路　哲雄

P016-5　神経線維腫症1型に合併した内腸骨動脈破裂の一例
堺市立総合医療センター　救急外科　金子　正憲

P016-6　交通外傷後，遅発性に発生した多発性仮性脾動脈瘤の一例
京都医療センター　救命救急センター　濱中　訓生

P016-7　小児外傷に対するIVRは本当に低侵襲で有効な治療法か？
北里大学　医学部　救命救急医学　大井真里奈

16：30 ～ 17：30

ポスター 17

外傷：症例報告　1

座長　温知会会津中央病院　小林　辰輔
京都第二赤十字病院　救命救急センター　救急科　神鳥　研二

P017-1　重篤な低体温によるショックのため診断が遅れた河川転落外傷の2例
豊川市民病院　救急科　池上　之浩

P017-2　エイ刺傷による大腿動脈損傷の一例
東京ベイ・浦安市川医療センター　笹松　信吾

P017-3　熊による顔面外傷後に気道確保を行った一例
金沢大学附属病院　麻酔科蘇生科　天日　聖

P017-4　*Bacillus cereus*感染によって患肢を温存できなかった左上腕不完全切断の1例
神戸大学大学院　災害・救急医学分野　前田　裕仁

P017-5　外傷性輪状軟骨骨折をきたした1例
東京都済生会中央病院　救命救急センター　道浦　悠

P017-6　ミニセグウェイに関連した外傷で救急外来を受診した2例
青梅市立総合病院　岩崎　陽平

P017-7　交通外傷にて小腸破裂を来した副腎白質ジストロフィーの一例
東京大学医学部附属病院　救命救急センターER・集中治療部　吉良　圭

17：30 ～ 18：30

ポスター 18

外傷：症例報告　2

座長　帝京大学医学部附属病院外傷センター　鈴木　卓
新百合ヶ丘総合病院　救急科　杉浦　潤

P018-1　経過中に頸椎，頸髄損傷の診断がついた多発外傷の1例
大分県立病院　脳神経外科　松田　剛

P018-2　脊髄損傷と外傷性大動脈解離を合併した多発外傷の初期診療
東京医科大学八王子医療センター　救命救急センター　小西　浩之

P018-3　深部感染を合併せず治療し得た骨盤開放骨折の1例
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター　救急科　後藤　法広

P018-4　工業用高圧洗浄機にて左大腿部挫創を受傷し腰椎麻酔下で切開洗浄を必要とした一例
兵庫県立尼崎総合医療センター　ER・総合診療科　牛場　彩

P018-5　出血が制御できず救命困難であったMorel-Lavallee Lesionの一例
福島県立医科大学附属病院　高度救命救急センター　全田　吏栄

P018-6　頭部から顔面の広範囲デグロービング損傷からの活動性出血によって出血性ショックに至った1症例
国立病院機構　岩国医療センター　救急科　宮内　崇

P018-7　腰椎破裂骨折術後に手術創深部感染をきたしRENASYS TOUCH™を用いて治療した1例
自治医科大学附属さいたま医療センター　遠藤　成晃

16：30 ～ 17：30

ポスター 19

ショック　1

座長　聖マリアンナ医科大学　救急医学　平　泰彦
兵庫県立加古川医療センター 救急科　山下　貴弘

P019-1　抗酒薬内服中に飲酒し，ショックで搬送され集中治療を要した4例の検討
横浜市立大学附属市民総合医療センター　高度救命救急センター　嶽間澤昌泰

P019-2　壊死性脳炎の加療中に治療抵抗性ショックを呈し，NO吸入が著効した急性肺高血圧症の一例
産業医科大学病院　集中治療部　遠藤　武尊

P019-3　非β遮断薬内服患者の難治性アナフィラキシーショックに対しグルカゴン投与が有効であった1例
福井大学医学部附属病院　救急・総合診療部　秦　龍彦

P019-4　アナフィラキシーに対するアドレナリン静脈内投与後に非外傷性円蓋部くも膜下出血と急性心筋障害を併発した1例
熊本労災病院　岩下　晋輔

P019-5　脳梗塞に対する血栓溶解療法施行後にショック状態となり緊急手術により救命したA型急性大動脈解離の1例
県立広島病院　救急科　田邊　輝真

P019-6　TAFRO症候群を基礎疾患に発症した若年男性の後天性血友病A
三重大学医学部附属病院　救命救急・総合集中治療センター　鈴木　圭

P019-7　心筋内石灰化をきたした好酸球性心筋炎-画像所見を中心とした考察
埼玉医科大学国際医療センター　心臓内科　中埜信太郎

17：30 ～ 18：30

ポスター 20

ショック　2

座長　広島大学　原爆放射線医科学研究所　放射線災害医療開発研究分野　廣橋　伸之
山梨大学　医学部　救急集中治療医学講座　高三野淳一

P020-1　ショック状態で紹介受診し，出血性胆嚢炎・胆嚢破裂の1例
岸和田徳洲会病院　救急科　田　田

P020-2　尿路感染症による敗血症性ショックの治療中に血清リパーゼ上昇を認めた3例の検討
仙台市立病院　救命救急センター　清水　広

P020-3　敗血症性ショック・多臓器不全を呈した急性虫垂炎の1例
菊名記念病院　外科　水谷　政之

P020-4　動脈破綻による出血性ショックの合併が考えられた後腹膜膿瘍による敗血症性ショック
獨協医科大学埼玉医療センター　集中治療科　多田　勝重

P020-5　経過中にST上昇を伴う敗血症誘発性心筋症を併発し，IABP，PMX-DHPを用いて奏功した結石性腎盂腎炎の一例
東京警察病院　救急科　藤本　竜平

P020-6　当院救急科におけるアナフィラキシー症例の検討
帝京大学　医学部　救急医学講座　立澤　直子

P020-7　当院救命救急センターへ搬送されたアナフィラキシー症例の検討
東京医科大学　皮膚科学分野　小林　知子

16：30 ～ 17：20

ポスター 21

感染症　1

座長　兵庫県立加古川医療センター　救命救急センター　当麻　美樹
新潟市民病院　救命救急・循環器・脳卒中センター　吉田　暁

P021-1　イナビル吸入後にアナフィラキシーを発症したインフルエンザ関連脳症の一例
独立行政法人労働者健康安全機構　中国労災病院　救急部　岡崎　裕介

P021-2　肺スケドスポリウム症の診断に至ったメチシリン感受性黄色ブドウ球菌（MSSA）肺炎の1例
東京女子医科大学　救急医学　朴　栽完

P021-3　関節リウマチに対する低用量メトトレキセート治療中に高度の汎血球減少と重症肺炎を来した2例
名古屋第二赤十字病院　呼吸器内科　川浪　匡史

P021-4　化膿性膝関節炎および膝関節偽痛風における，来院時バイタルサインの比較
倉敷中央病院　救急科　村松　寛惟

P021-5　動物咬傷の検討
産業医科大学　救急科　佐藤　直人

P021-6　重症患者における感染診断マーカーとしての血中Interleukin-6（IL-6）濃度の有用性
千葉大学大学院　医学研究院　救急集中治療医学　岩瀬　信哉

17：20 ～ 18：30

ポスター 22

ER診療　1

座長　帝京大学　医学部　救急医学講座　寺倉　守之
独立行政法人国立病院機構　東京医療センター　救命救急センター　渡瀬　瑛

P022-1　喀血を主訴とする肺疾患が疑われた胸部大動脈瘤破裂の3症例
医療法人医誠会　医誠会病院　救急診療科　石本幸太郎

P022-2　腹筋運動が誘因となったと思われる特発性腹直筋血腫の1症例
岡山大学病院　救命救急科　山田　太平

P022-3　脳梗塞疑いの紹介受診で来院した軸椎歯突起症候群（crowned dens syndrome：CDS）の一例
静岡済生会総合病院　倉兼　猛

P022-4　縦隔炎を合併したGroup C *Streptococci*，*Streptococcus constellatus*による急性感染性電撃性紫斑病の1症例
帝京大学ちば総合医療センター　救急科　北村　真樹

P022-5　四肢の浮腫と労作時息切れを主訴に来院したバセドウ病の一例
横浜労災病院　救命救急センター　藤江　華子

P022-6　難治性吃逆の薬物治療：ベンゾジアゼピンを第1選択とすべきではない
友愛記念病院　救急科　近藤　司

P022-7　胃管先端確認としてのエコーの有用性 － primary survey時を想定して
社会医療法人　佐伯中央病院　塩月　成則

P022-8　新規抗てんかん薬時代に覚えておきたい病態
雄勝中央病院　脳神経外科　國塚　久法

16：30 ～ 17：30

ポスター 23

ER診療　2

座長　大津赤十字病院　高度救命救急センター　救急科　松原　峰生
東京医科大学　救急災害医学分野　桜井　雅子

P023-1　当院の救急センター受診状況の変化と今後の課題について
NTT東日本関東病院　救急センター　山本　武史

P023-2　10年間の救急搬送症例の年齢と主訴・主要症候の推移
JA愛知厚生連　豊田厚生病院　西本　泰浩

P023-3　救急医の存在意義について考えさせられた一例
戸田中央総合病院　救急科　川口　祐美

P023-4　新設された救急外来における環境汚染状態の変化
国立長寿医療研究センター　医療安全推進部　感染管理室　北川　雄一

P023-5　股関節脱臼を救急医だけで整復できるか
神戸市立医療センター　中央市民病院　救命救急センター　榛本　悠嗣

P023-6　外傷初期看護の視点に立った新たな外傷初期記録システムの有用性と課題
島根大学医学部附属病院　救命救急センター　遠藤　篤也

P023-7　院内救急救命士の活用により救急医の業務負担は軽減できる
米盛病院　救急科　榮福　亮三

17：30 ～ 18：10

ポスター 24

感染症　2

座長　横浜市立大学附属市民総合医療センター　高度救命救急センター　岩下　眞之
前橋赤十字病院　高度救命救急センター　集中治療科・救急科　生塩　典敬

P024-1　大動脈組織から複数菌種が検出された感染性大動脈瘤の一例
奈良県総合医療センター　救急・集中治療センター　竹本　聖

P024-2　腰椎化膿性脊椎炎・腸腰筋膿瘍に合併した感染性腹部大動脈瘤の一例
上尾中央総合病院　整形外科　武川　竜久

P024-3　下腿壊死性筋膜炎・骨髄炎に対しiMAPを施行し救肢しえた1症例
岩手医科大学　救急・災害・総合医学講座　野々口マリア

P024-4　インフルエンザウイルス感染後CA-MRSA肺炎の診断となった一例
東京女子医科大学　救急医学　小松　塁

P024-5　劇症型溶連菌感染症に対して左股関節離断術を施行し救命しえた一症例
大阪府済生会野江病院　救急集中治療科　渡辺　昇永

16：30 ～ 17：40

ポスター 25

ER診療　3

座長　きつこう会多根総合病院　救急科　廣田　哲也
自治医科大学附属さいたま医療センター　総合医学1　救急科　田村　洋行

P025-1　救急搬送された急性アルコール中毒患者1348例の合併症・併存症の検討
川崎市立川崎病院　救命救急センター　田熊　清継

P025-2　アナフィラキシーに対するアドレナリンの使用状況
国際親善総合病院　救急科　吉田　哲

P025-3　内科救急搬送患者のdispositionの決定に白血球が及ぼす影響
南奈良総合医療センター　鶴田　啓亮

P025-4　救急車搬送患者，臨時外来受診患者におけるプレセプシン値の検討
手稲渓仁会病院　総合内科/感染症科　松坂　俊

P025-5　当院における再診後入院となった症例の検討
相澤病院　救命救急センター　吉池　昭一

P025-6　救急外来から帰宅した患者における血液培養陽性結果の取り扱い
名古屋第二赤十字病院　救急科　加藤　久晶

P025-7　第三者行為で搬送された症例の検討
川崎市立川崎病院　救命救急センター　石田　径子

P025-8　救急搬送患者における来院時刻不確実性の定量的評価：Shannon entropyを用いて
国際医療福祉大学　医学部　救急医学・同熱海病院　救急部　安心院康彦

17：40 ～ 18：20

ポスター 26

感染症　3

座長　豊田厚生病院 救急科　畑田　剛
筑波大学附属病院　救急集中治療科　星野　哲也

P026-1　診断に難渋したGBS菌血症を伴う脊髄硬膜外膿瘍の一例
社会医療法人仁愛会　浦添総合病院　救命救急センター　北井　勇也

P026-2　特発性肺炎球菌性髄膜炎から脳室炎，脳室内膿瘍，脳梗塞を来たし，治療に難渋した症例
聖マリアンナ医科大学　救急医学　谷井　梨美

P026-3　来院時に重篤な複合菌感染を呈していた電撃性紫斑病の1症例
岐阜市民病院　集中治療部　大畠　博人

P026-4　ゴリラに噛まれて開放性骨折を受傷した一例
東京大学医学部附属病院　救急科　（救命救急センター・ER，集中治療部）　水野　仁介

P026-5　軟部組織感染症に対する古典的創処置と陰圧閉鎖療法の利点および問題点
千葉県救急医療センター　麻酔集中治療科　江藤　敏

16：30 ～ 17：10

ポスター 27

感染症　4

座長　福岡大学病院　救命救急センター　喜多村泰輔
日本医科大学 高度救命救急センター　徳田　裕二

P027-1　ベル麻痺様の末梢性顔面神経麻痺で発症し，髄膜炎を合併した真珠腫性中耳炎の一例
日立総合病院救命救急センター　救急集中治療科　串間　琢郎

P027-2　治療に難渋した破傷風の1例
弘前大学医学部附属病院　高度救命救急センター　矢口　慎也

P027-3　激しい腰痛にて発症した化膿性脊椎炎，腸腰筋膿瘍合併僧帽位人工弁輪感染の一例
仙台市立病院　心臓血管外科　外山　秀司

P027-4　慢性骨髄単球性白血病の小腸浸潤に対し，外科的切除により救命した一例
奈良県立医科大学附属病院　高度救命救急センター　喜多　桃子

P027-5　たこつぼ心筋症を合併した重症胆嚢炎治療中に非閉塞性腸管虚血を発症した一例
東京都済生会中央病院　外科　小林　陽介

17：10 ～ 18：20

ポスター 28

ER診療　4

座長　医療法人倚山会　田岡病院　救急科　上山　裕二
名古屋市立東部医療センター　救急科　村橋　一

P028-1　脳梗塞を合併する急性大動脈解離の除外―上行大動脈最大径の計測
福岡徳洲会病院　救急科　鈴木　裕之

P028-2　救急外来を受診した急性腰痛患者における腰痛のレッドフラッグと重大疾患との関連
東京ベイ浦安市川医療センター　救急集中治療科　桑名梨里子

P028-3　脳空気塞栓症に対し高圧酸素療法を行った1例
富山大学附属病院　災害・救命センター　波多野智哉

P028-4　高血圧を主訴として救急外来を受診する患者の頭部画像検査必要性についての検討
相澤病院　救命救急センター　救急科　白戸　康介

P028-5　ER医による頭部CT読影は信用できるのか？
福井県立病院　救命救急センター　林　実

P028-6　walk-in患者に対するNEWSの有用性の検討
聖マリアンナ医科大学病院　救急医学　井桁　龍平

P028-7　外傷プロトコール導入による外傷患者へのCT撮影までの時間の検討
沖縄県立中部病院　救急科　岡　正二郎

P028-8　研修医でも重症腹部外傷を救命できるか？～重症腹部外傷プロトコルを作成して
JA愛知厚生連　江南厚生病院　救急科　大岩　秀明

16：30 ～ 17：20

ポスター 29

呼吸器　1

座長　社会福祉法人恩賜財団　済生会中和病院　総合診療科　小延　俊文
昭和大学藤が丘病院　救急医学科　高安　弘美

P029-1　発声を契機に生じた特発性縦隔気腫の一例
東京大学医学部附属病院　救命救急センター・ER・集中治療部　前原　弘武

P029-2　急激に発症した背部痛を主訴に来院し鑑別に苦慮した右巨大縦隔腫瘤の一例
東京ベイ・浦安市川医療センター　川端あづみ

P029-3　腹腔鏡下胆嚢摘出術後に発症した異所性子宮内膜症に関連する血気胸の一例
筑波学園病院　外科　前田　道宏

P029-4　多発動脈瘤に合併した縦隔型気管支動脈瘤破裂の一例
鹿児島市立病院　救命救急センター　柚木健太朗

P029-5　喀血を主訴に来院しIgG4関連疾患の診断に至った一例
群馬大学医学部附属病院　救命救急センター　福島　一憲

P029-6　V-V ECMOを使用した臨床的無筋症性皮膚筋炎の1剖検例
群馬大学医学部附属病院　救命救急センター　澤田　悠輔

17：20 ～ 18：30

ポスター 30

呼吸器　2

座長　済生会若草病院　鈴木　淳一
大阪市立総合医療センター　救命救急部　孫　麗香

P030-1　経口造影剤（バリウム）により誤嚥性肺炎を合併した1例
横須賀市立うわまち病院　救命救急センター　救急総合診療部　中山　洋平

P030-2　診断に難渋した片側性肺水腫の1症例
済生会横浜市東部病院　集中治療科　木村　慎一

P030-3　急速に進行した再膨張性肺水腫を画像で追えた一例
東京ベイ・浦安市川医療センター　救急集中治療科　森田　智也

P030-4　抗ARS抗体症候群と診断され，ステロイドパルスが有効であったARDSの2症例
京都大学医学部附属病院　初期診療救急科　堤　貴彦

P030-5　急性呼吸不全を初発として診断された筋萎縮性側索硬化症（ALS）の一例
日立総合病院　救急集中治療科　白石　託也

P030-6　非侵襲的陽圧換気と経鼻高流量酸素療法が多発肋骨骨折患者の呼吸に与える影響の検討
山形大学医学部附属病院　救急科　高田　壮潔

P030-7　慢性腎不全患者がび漫性肺疾患を罹患した時の治療戦略に関して
鹿児島大学病院　救命救急センター　政所祐太郎

P030-8　VAPに対するグラム染色を用いた抗生剤選択に関するランダム化比較試験（GRACE-VAP trial）～研究計画と進行状況の報告
大阪急性期・総合医療センター　高度救命救急センター　吉村　旬平

16：30 ～ 17：20

ポスター 31

中毒　1

座長　大阪医科大学　救急医学教室　高須　朗
国立国際医療研究センター病院 救命救急センター　救急科　廣瀬　恵佳

P031-1　症状出現直後に搬入された有機リン中毒症例
セコメディック病院　宇藤　薫

P031-2　意識障害が遷延した有機リン中毒の一例
筑波メディカルセンター病院　救急診療科　松岡　宜子

P031-3　服用状況が特殊で体内への吸収過程の予測に苦慮した有機リン中毒の1例
佐賀大学医学部附属病院　高度救命救急センター　岩永　幸子

P031-4　たこつぼ型心筋症を合併した有機リン中毒の1例
千葉県救急医療センター　藤芳　直彦

P031-5　有機リン中毒に対してアトロピン投与を行い，麻痺性イレウスおよび腸管壊死を来した一例
北里大学　医学部　救命救急医学　井上　裕路

P031-6　GC/MS分析にて薬物同定できなかったものの臨床的に有機リン中毒が疑われた一例
飯塚病院　集中治療部　平松　俊紀

17：20 ～ 18：30

ポスター 32

中毒　2

座長　藤田保健衛生大学　災害・外傷外科　平川　昭彦
県立延岡病院　救命救急科　長嶺　育弘

P032-1　市販薬大量内服後にショックに至ったカフェイン中毒例
セコメディック病院　宇藤　薫

P032-2　当院におけるカフェイン中毒3例
勤医協中央病院　救急科　鈴木　詩織

P032-3　致死量カフェイン内服後自然経過で改善した症例における血中カフェインおよび代謝物の推移
日本医科大学武蔵小杉病院　救命救急センター　渡邊　顕弘

P032-4　自殺企図を目的としたカフェイン中毒の1例
国家公務員共済組合連合会　新別府病院　救命救急センター　安高　拓弥

P032-5　中毒症状が遷延した急性カフェイン中毒の一例
堺市立総合医療センター　平野恵里子

P032-6　比較的低血中濃度で致死性不整脈に移行する可能性がある心電図変化をきたしたカフェイン中毒の1例
福岡徳洲会病院　救急科　川原　加苗

P032-7　市販鎮痛薬の大量服薬によるカフェイン関連痙攣の一症例：過換気・無呼吸発作を呈した横隔膜ミオクローヌスと症候性痙攣
社会医療法人共愛会　戸畑共立病院　精神科　辻　泰子

P032-8　当院4年間の急性カフェイン中毒11症例の検討
健和会大手町病院　救急科　山本　康之

16：30 ～ 17：10

ポスター 33

中毒　3

座長　自衛隊中央病院　救急科　西山　隆
愛媛大学　救急航空医療学講座　安念　優

P033-1　一酸化炭素中毒による心筋障害から心停止に至ったと考えられた1例
群馬大学大学院　医学系研究科　救急医学　一色　雄太

P033-2　対照的な転帰となった一酸化炭素（CO）中毒の2症例
戸田中央総合病院　救急科　大塩　節幸

P033-3　一酸化炭素中毒の治療経過中に心筋障害が疑われた1例
三重県立総合医療センター　救急・集中治療科　田島　祐

P033-4　自殺企図のCO中毒患者にHFNCで救命し得た1例
兵庫県立尼崎総合医療センター　診療部　臨床工学　廣岡　優典

17：10 ～ 18：20

ポスター 34

中毒　4

座長　名古屋第二赤十字病院　稲田　眞治
北里大学　医学部　救命救急医学　朝隈　禎隆

P034-1　メトヘモグロビン血症をきたした亜硝酸ナトリウム中毒の1例
千葉市立青葉病院　救急集中治療科　竹田　雅彦

P034-2　薬物過量内服に伴い高メトヘモグロビン血症を呈し，集学的治療により救命し得た1症例
愛知医科大学病院　救命救急科　大石　大

P034-3　個人輸入したetizolamを入院中に加療服薬して急性中毒を来した1例～個人輸入医薬品の管理の必要性について
名古屋掖済会病院　産婦人科　橋本　悠平

P034-4　インターネットで購入した大量ブロモバレリル尿素薬を服用した急性薬物中毒の1例
大阪医科大学附属病院　救急医療部　阪上　正英

P034-5　心肺停止搬送患者によるERのクロルピクリン汚染
JA長野厚生連　南長野医療センター　篠ノ井総合病院　救急科・集中治療科　関口　幸男

P034-6　クロルピクリンによる急性肺障害の1例
信州大学医学部附属病院　高度救命救急センター　佐藤　弥生

P034-7　塩素系洗剤と酸性洗剤の服薬により化学性肺臓炎，腐食性喉頭損傷を来した一例
練馬光が丘病院　総合診療科　鈴木　有大

P034-8　洗濯用パック型液体洗剤の大量経口摂取により致死的な転帰をとった高齢者の1例
深谷赤十字病院　救命救急センター・外傷センター　中込圭一郎

16：30 ～ 17：10

ポスター 35

中毒　5

座長　国立病院機構　呉医療センター・中国がんセンター　救命救急センター　岩崎　泰昌
防衛医科大学校　精神科学講座　兼　救急部　寺山　毅郎

P035-1　当院におけるフッ化水素酸の経皮曝露による化学熱傷4例の検討
新潟市民病院　救命救急・循環器病・脳卒中センター　広瀬　由和

P035-2　灯油経皮吸収による中毒・化学熱傷の1例
岩手県立大船渡病院　外科　前川　慶之

P035-3　塗膜剥離剤の吸入により急性ベンジルアルコール中毒をきたした一例
旭中央病院　伊藤　史生

P035-4　急速に重症化し急死したクロルフェナピル中毒の一例
高知赤十字病院　橋爪　貴史

P035-5　悪性症候群症状を呈したアルコール関連の横紋筋融解症の1例
静岡赤十字病院　救急科　原田　佳奈

17：10 ～ 18：00

ポスター 36

Autopsy Imaging・剖検

座長　国立病院機構　北海道医療センター　救急科　七戸　康夫
滋賀医科大学　救急集中治療部　蛯名　正智

P036-1　死因特定にAutopsy Imaging（Ai）が有用であった1例
昭和大学藤が丘病院　循環器内科　佐藤　督忠

P036-2　Autopsy Imagingで上腸間膜動脈気腫像を呈した2例
社会医療法人大雄会　総合大雄会病院　救命救急センター　竹村　元太

P036-3　死亡時画像診断にて脳出血と急性A型大動脈解離の合併が判明した一例
三重県立総合医療センター　救命救急センター　山本　章貴

P036-4　CPA症例に対する死後画像診断（オートプシー・イメージング）の有用性
社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス　座間総合病院　放射線科　渡　潤

P036-5　救急研修後の臨床研究
滋賀医科大学　医学部　社会医学講座　法医学部門　古川　智之

P036-6　両冠動脈を巻き込むA型大動脈解離によって心室細動を繰り返した1症例
地方独立行政法人　山形県・酒田市病院機構　日本海総合病院　近江　晃樹

16：30 ～ 17：10

ポスター 37

中毒　6

座長　前　島根大学　救急医学　仁科　雅良
加古川中央市民病院　救急科　中田　一弥

P037-1　スズメバチ刺傷後に臓器障害を呈した2例
久留米大学病院　高度救命救急センター　萬木真理子

P037-2　APTT延長を伴ったスズメバチ刺症の2例
岩手医科大学　医学部　救急・災害・総合医学講座　救急医学分野　藤野　靖久

P037-3　内陸県での淡水エイによる刺傷の1例
自治医科大学附属病院　救命救急センター　山黒　友丘

P037-4　ミズコブラモドキによる咬傷で減張切開に至った一例
東京ベイ・浦安市川医療センター　救急集中治療科　高祖　麻美

P037-5　原因毒素を確定し得た麻痺性貝毒による呼吸筋麻痺の一例
兵庫県立尼崎総合医療センター　救命センター　川本　雄也

17：10 ～ 18：20

ポスター 38

集中治療

座長　徳山中央病院　救急科　山下　進
北海道大学　先進急性期医療センター　救急科　吉田　知由

P038-1　イレウス管挿入中に両側声帯麻痺を発症した一例
厚生連高岡病院　救急科　中村　真司

P038-2　治療経過中呼吸抑制を来したインフルエンザ脳症の1症例
旭川赤十字病院　麻酔科　児玉　萌

P038-3　重症ARDSによる長期人工呼吸中に廃用性高Ca血症を呈した一症例
徳島大学病院　救急集中治療部　高島　拓也

P038-4　肝細胞癌破裂（rHCC）に対する経カテーテル動脈塞栓術（TAE）後に腹部コンパートメント症候群（ACS）をきたしたと推測される一例
京都大学医学部附属病院　初期診療・救急科　安尾　俊祐

P038-5　著明な高血糖状態で搬送され，後遺症なく治療しえた糖尿病性ケトアシドーシスの1例
市立釧路総合病院　救命センター　郭　光徳

P038-6　間接熱量計が急性期栄養管理に有用であった心肺停止蘇生後の福山型先天性筋ジストロフィーの一例
日本赤十字社医療センター　栄養課　山邊志都子

P038-7　当院救急科に入院した神経性食思不振症の検討
国立病院機構　横浜医療センター　佐藤　公亮

P038-8　集中治療における熱中症以外の異常高体温を呈した2症例と冷却方法について
東京医科大学病院　麻酔科　集中治療部　齊木　巌

16：30 ～ 17：30

ポスター 39

呼吸管理　1

座長　獨協医科大学　埼玉医療センター　松島　久雄
旭川医科大学病院　集中治療部　衛藤　由佳

P039-1　気管挿管後の気管狭窄を起こした4症例の検討
藤田保健衛生大学病院　救急総合内科　安藤　綾

P039-2　当院救急ICUにおける気管切開術施行症例の検討
佐賀大学医学部附属病院　高度救命救急センター　櫻井　良太

P039-3　未指摘の声門下腫瘍による上気道閉塞に対して輪状甲状靱帯切開を施行し救命し得た一例
湘南藤沢徳洲会病院　中野航一郎

P039-4　BMI48の高度肥満，慢性心不全，睡眠時無呼吸症候群の基礎疾患を持つ症例に急性喉頭蓋炎を生じ，緊急気道確保に難渋した一例
産業医科大学病院　集中治療部　椎野明日実

P039-5　経口気管挿管チューブの形状と経皮気管切開術への影響
鹿児島大学病院　救命救急センター　有嶋　拓郎

P039-6　気道狭窄を来した甲状腺腫の1例
獨協医科大学病院　救急救命センター　飯田　茉李

P039-7　喉頭浮腫による窒息で心肺停止に至った遺伝性血管性浮腫（HAE）の1例
大阪府済生会千里病院　千里救命救急センター　森山　太揮

17：30 ～ 18：30

ポスター 40

呼吸管理　2

座長　福山市民病院　救命救急センター　宮庄　浩司
愛知医科大学病院　救命救急科　加藤　祐将

P040-1　V-V ECMO導入基準を満たす最重症呼吸不全に対しAPRVで救命し得た2例
兵庫県立尼崎総合医療センター　診療部　臨床工学　安達　一眞

P040-2　人工呼吸器管理後早期に気管ステント留置を施行しその後加療を開始した食道癌リンパ節再発の1例
井上病院　西川　敏雄

P040-3　気管チューブの固定により屈曲し内腔の狭窄を起こした一症例
徳島大学病院　救急集中治療部　田根なつ紀

P040-4　食道内圧を用いた呼吸器設定の変更により酸素化が改善した病的肥満患者の1例
高知医療センター　救命救急センター　上田　浩平

P040-5　胸腔ドレーン留置日数短縮の試み
青梅市立総合病院　救命救急センター　河西　克介

P040-6　濃厚赤血球輸血開始後15分で発症した輸血関連急性肺障害の1例
名張市立病院　総合診療科　谷崎隆太郎

P040-7　気管支拡張薬の直接気管内散布が著効した重症喘息重積発作の一例
八戸市立市民病院　救命救急センター　伊沢　朋美

16：30 ～ 17：30

ポスター 41

PCPS・ECMO・血液浄化　1

座長　大阪府済生会千里病院　千里救命救急センター　澤野　宏隆
前橋赤十字病院　高度救命救急センター　集中治療科救急科　藤塚　健次

P041-1　レジオネラ肺炎による重症ARDSに対してECMO導入し救命し得た1例
健和会　大手町病院　救急科　西村　茉衣

P041-2　敗血症性ショックを伴う重症呼吸不全に対して末梢型Upper VA-ECMOで救命し得た1例
日本医科大学付属病院　外科系集中治療科　池田　督司

P041-3　Hybrid　ECMOと腹臥位療法＋陽・陰圧式体外人工呼吸器（RTX）により救命した敗血症性ショックの一例
八戸市立市民病院　救命救急センター　森　仁志

P041-4　縦隔原発悪性リンパ腫による気管狭窄のために緊急帝王切開術を行い，ECMO管理を要した1例
大阪市立総合医療センター　救命救急センター/集中治療センター　的井　愛紗

P041-5　開腹止血でECMO循環不全を改善させた一例
東京警察病院　外科　内堀健一郎

P041-6　造血幹細胞移植後のHSV肺炎におけるECMOの可能性.
筑波大学附属病院　救急集中治療科　長友　一樹

P041-7　横浜市消防局救急車によるECMO患者の搬送における問題点
横浜市立市民病院　救命救急センター　高橋ミツル

17：30 ～ 18：10

ポスター 42

PCPS・ECMO・血液浄化　2

座長　帝京大学ちば総合医療センター　志賀　英敏
昭和大学 救急災害医学講座　中島　靖浩

P042-1　PCPS導入が有用であった偶発性重症低体温症の1例
社会医療法人財団池友会 新行橋病院　塚本　雅俊

P042-2　ECPR施行後に認めた遅発性肝損傷
東京都立墨東病院　救命救急センター　田邉　真樹

P042-3　透析中に生じたCO_2ナルコーシスにてRapid Response System（RRS）callされた2例
愛媛大学医学部附属病院　救急科　森山　直紀

P042-4　クラッシュ症候群による急性腎障害に対してHigh Flow CHDFを含む集中治療により血液透析を離脱できた一例
慶應義塾大学　医学部　救急医学　土屋　賢吾

P042-5　敗血症性ショックに対していつエンドトキシン吸着（PMX）をするか
済生会新潟第二病院　救急科　田山　雅雄

16：30 ～ 17：30

ポスター 43

重症度・予後評価

座長　新潟大学医歯学総合病院　高度救命救急センター　遠藤　裕
聖隷浜松病院　救急科　眞喜志　剛

P043-1　敗血症転帰予測におけるデータキュレーション・解析の取り組み
東北大学大学院　医学系研究科　神経外科学分野　中川　敦寛

P043-2　医療介護関連肺炎におけるqSOFAの有用性の検証
産業医科大学　医学部　呼吸器内科学　野口　真吾

P043-3　ER型救急施設における大量輸血予測スコアの外的妥当性
沖縄県立中部病院　救急科　岡　正二郎

P043-4　外傷患者における病院前qSOFAによる院内死亡の予測
和歌山県立医科大学　救急集中治療医学講座　柴田　尚明

P043-5　墜落高度による気管挿管・輸血の予測
横浜市立大学附属市民総合医療センター　高度救命救急センター　酒井　拓磨

P043-6　造影剤腎症を気にかけ腸間膜動脈虚血の治療が遅れた1例
沖縄県立中部病院　救急救命科　山元　昇栄

P043-7　腹部緊急手術および術後集中治療室管理を要した80歳以上高齢者の予後についての検討
帝京大学医学部附属病院　高度急救命センター　中澤佳穂子

17：30 ～ 18：10

ポスター 44

鎮静・鎮痛

座長　新潟大学　医学部　救急医学　本多　忠幸
警和会　大阪警察病院　救命救急科　野間　貴之

P044-1　腹水中のmidazolamが意識障害の原因と考えられた1例
昭和大学　救急・災害医学講座　柿　佑樹

P044-2　プロポフォール注入症候群を発症したMELASの一例
滋賀医科大学　救急・集中治療部　清水　淳次

P044-3　当院における処置時鎮静時の薬剤による合併症の比較検討
東京ベイ浦安市川医療センター　救急集中治療科　清水　宏康

P044-4　市中の救急外来における処置時の鎮静・鎮痛の実施状況と安全性の検討
獨協医科大学病院　総合診療科　高瀬　啓至

P044-5　急性腹症における疼痛管理
福井県立病院救命救急センター　前田　重信

16：30 ～ 17：40

ポスター 45

チーム医療

座長　東京女子医科大学　救急医学　武田　宗和
湘南鎌倉総合病院　救急総合診療科　関根　一朗

P045-1　研修を受けた看護師が行う絹糸器械結紮の技術の迅速性は，内科医と比較し，非生体モデルにおいて非劣性である
社会医療法人　佐伯中央病院　塩月　成則

P045-2　救命救急センターでの緩和ケアチームの取り組み
半田市立半田病院　救急科　杉浦真沙代

P045-3　院内心停止に対する一次救命処置～院内インストラクターの指導・進行内容の統一方法
士別市立病院　診療技術部　臨床検査室　生理検査科　佐藤　孝一

P045-4　死戦期帝王切開の経験から見えた課題
大阪市立総合医療センター　救命救急センター　吉野　智美

P045-5　ER患者の過去　現在　拓ける未来～直接来院患者ICU/HCU記録より
仙台市立病院　救命救急センター　芳賀　玉江

P045-6　地方救急病院である当院での現場教育，カンファレンスの取り組み
社会医療法人財団池友会　新行橋病院　救命救急部　田中　宏典

P045-7　多職種協働による救命救急病床運営プロジェクトの効果
武蔵野赤十字病院　救命救急科　原田　尚重

P045-8　院内発症目撃なしのCPA症例において，チーム医療ならびにドクターヘリによる迅速な病病連携が功を奏し社会復帰を遂げた一例
伊賀市立上野総合市民病院　宮田　和明

17：40 ～ 18：20

ポスター 46

Rapid Response System

座長　国立病院機構　嬉野医療センター　救急科　藤原　紳祐
愛知厚生連　安城更生病院　救急科・救命救急センター　寺西　智史

P046-1　CTガイド下肺生検に合併した空気塞栓症の2例
順天堂大学医学部附属練馬病院　救急・集中治療科　野村　智久

P046-2　ラウンドによるRRS（rapid response system）導入とその成果
半田市立半田病院　救命救急センター　太平　周作

P046-3　当院における院内救急コールの実態調査
一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院　救命救急センター・麻酔科　千田　康之

P046-4　昭和大学病院における院内急変対応（コードブルー）症例についての検討
昭和大学　救急災害医学講座　福田賢一郎

P046-5　当院におけるrapid response systemの現状と課題（導入後2年が経過して）
公立学校共済組合　九州中央病院　救急部　前原伸一郎

16：30 ～ 17：20

ポスター 47

地域医療・連携　1

座長　鹿児島市立病院　救急科　吉原　秀明
国立病院機構　熊本医療センター　救急集中治療部　楯　直晃

P047-1　小型補助循環装置を使用し離島から本土へ安全に搬送できた劇症型心筋症の一症例
鹿児島大学大学院　医歯学総合研究科　救急・集中治療医学講座　江口　智洋
P047-2　離島で発生した院外心肺停止から社会復帰を果たした1例
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター　集中治療科　桜井　博志
P047-3　広域夜間急病センターにおける電話相談の実態―大隅地域3市5町の取り組み―
琉球大学医学部附属病院　救急部　大内　元
P047-4　過去5年間に機内発症し新千歳空港着陸後に救急搬送された患者について
市立千歳市民病院　外科　内藤　祐貴
P047-5　医療過疎地域で求められる救急医の役割
兵庫県立柏原病院　武田　和也
P047-6　病院前救急医療体制の地域格差についての検討
国士館大学大学院　救急システム研究科　星野　元気

17：20 ～ 18：20

ポスター 48

地域医療・連携　2

座長　昭和大学病院　救命救急センター　八木　正晴
鹿児島市立病院　救命救急センター　高間　辰雄

P048-1　学校教職員への啓蒙活動も救急医の重要な任務である
前橋赤十字病院　集中治療科・救急科　町田　浩志
P048-2　Running #7119 KOBE―救急安心センターこうべ始動
神戸市立医療センター中央市民病院　救命救急センター　浅香　葉子
P048-3　ニーズに基づいた，在宅療養における急変時対応講習会の開催
高知医療センター　救命救急センター　盛實　篤史
P048-4　院外救急活動から地域における当院の役割を考える
京都市立病院　林　真也
P048-5　地方救命救急センターにおける循環器救急に対する取り組み
東千葉メディカルセンター　救急科　橋田　知明
P048-6　病院統合による広域の救急医療体制の変化
国立病院機構　渋川医療センター　横江　隆夫
P048-7　救命救急センター開設による地域救急医療への影響
海老名総合病院救命救急センター　山際　武志

16：30 ～ 17：40

ポスター 49

病院前医療・MC　1

座長　防衛医科大学校　防衛医学講座　清住　哲郎

P049-1　PAD実施後の心電図波形と社会復帰率の検討
日本救急システム株式会社　古川慎太郎
P049-2　プロトコルの違いがアドレナリン投与のタイミングと脳機能予後に及ぼす影響
明治国際医療大学　保健医療学部　救急救命学科　植田　広樹

P049-3　急性冠症候群の病院前診断スケールの開発
千葉大学大学院　医学研究院　救急集中治療医学　服部　憲幸

P049-4　意識障害を伴う急性硬膜下血腫に病院外での穿頭ドレナージにより良好な神経予後を獲得した一例
医療法人徳洲会　札幌東徳洲会病院　救急科　松本　悠

P049-5　横浜港沖合で停泊中のタンカーで発生した救急事案について
横浜市消防局　鶴見消防署　鶴見救急隊　吉村　友一

P049-6　テロ災害の現場トリアージはSTART変法に「第一印象」と「受傷部位/大量出血」,「タニケット」を加え「早期搬送」を徹底する
山梨県立中央病院　救命救急センター　総合診療・感染症センター　井上　潤一

P049-7　カンボジアにおける当院独自の救急車運用について
サンライズジャパン病院　高妻　岳広

P049-8　発展途上国におけるBLS教育普及の課題～カンボジア王国シェムリアップ州におけるBLS指導経験から
埼玉医科大学国際医療センター　救命救急科　高平　修二

17：40 ～ 18：30

ポスター 50

病院前医療・MC　2

座長　山梨県立中央病院　救命救急センター　井上　潤一
順天堂大学医学部附属練馬病院　救急集中治療科　近藤　彰彦

P050-1　季節外れの雹雨で傷病者の増加した笹川流れマラソン大会
東海大学　医学部　脳神経外科学　堀田　和子

P050-2　マラソン大会におけるWBGT（暑さ指数）の重要性
那覇市立病院　中田　円仁

P050-3　祭り・花火大会における応急救護体制確保の指針の作成について
救急救命東京研修所　田邉　晴山

P050-4　QRコードを用いた簡易的トリアージ情報管理システムの多数傷病者発生災害実動訓練における試用報告
東京女子体育大学　運動医学　山田浩二郎

P050-5　スポーツマスギャザリング・イベントにおけるBLS指導の意義
日本体育大学大学院　救急災害医療学　小川　理郎

P050-6　救命救急センター開設に伴う三次救急搬送基準開始後からの判断基準の変化
藤枝市立総合病院　救命救急センター　救急科　三木　靖雄